

令和7年度

教 育 要 覧

下松市教育委員会

下松市民憲章

わたくしたち 下松市民は
英知と友愛と勇気をもって

きまりを守り	明るいまちをつくる
花と緑を愛し	美しいまちをつくる
スポーツに親しみ	健やかなまちをつくる
生産に励み	豊かなまちをつくる
若い力を育て	伸びゆくまちをつくる

(昭和44年11月3日制定)

市章



松葉で下松の「下」と、
波静かな笠戸湾の波を表し、
丸く形どった円は、和を表している。

(昭和 15 年制定)

市民の花 サルビア



(昭和 47 年 11 月 3 日決定)

市の木 ヤマモモ



(昭和 50 年 12 月 10 日決定)

下松市公式マスコットキャラクター



(平成 31 年 3 月 20 日決定)
(令和元年 11 月 20 日 PR 部長就任)

目 次

I 下松市の概況

1	市制	1
2	市長・副市長・市議会	1
3	位置・広ぼう	1
4	面積	1
5	人口	1
6	地区別人口	2
7	人口の推移	2

II 教育行財政

1	教育長及び委員	3
2	教育委員会事務局・教育機関・関係部局	3
3	下松市教育行政の基本方針	4
4	令和7年度施政方針（教育委員会所管部分の抜粋）	5
5	教育費	7
6	下松市奨学金制度	8

III 学校教育

1	下松教育の基本目標	9
2	めざす児童生徒像	9
3	下松教育推進上の施策の展開	9
4	学校施設状況	14
5	市立学校教職員・児童・生徒一覧	15
6	年度別児童・生徒数	16
7	特別支援学級児童・生徒数	18
8	児童・生徒体位比較表	20
9	下松市教育支援センター「希望の星ラウンジ」	21
10	学校給食	22

IV 社会教育

1	社会教育分野別努力事項	24
2	社会教育委員	25
3	人権教育推進委員	26
4	公民館の概要	27
5	図書館の概要	28
6	文化財保護	29
7	文化財審議会委員	30
8	下松市郷土資料展示収蔵施設「島の学び舎」の概要	30

V 社会体育

1	体育施設の概要	31
2	スポーツ推進委員	33

VI 下松市教育研究所

1	研究所の設置	34
2	下松市教育研究構想	34

VII 資料

1	沿革・教育年譜	37
2	教育関係団体一覧	48
3	放課後児童クラブ（児童の家）	53
4	私立幼稚園	54
5	県立高等学校	55
6	施設所在地及び連絡先	56
7	学校位置図	57
8	下松市教育大綱	58

I 下松市の概況

1 市制

昭和14年11月3日に当時の都濃郡下松町、花岡村、久保村、末武南村を合併して市制を施行しました。

その後昭和29年11月1日に都濃郡米川村を、昭和37年4月1日に都濃郡都濃町滝ノ口地区を編入合併して現在に至っています。

2 市長・副市長・市議会

令和7年4月25日現在

市長・副市長		市議会	
市長	國井益雄	議長	永田憲男
副市長	玉井哲郎	副議長	堀本浩司
		福祉教育委員長	浅本輝明

3 位置・広ぼう

位置			広ぼう
方位	地名	極限経緯度	
東端	久保添谷	東経 131° 56'	東西 12.7 km
西端	古島	東経 131° 48'	
南端	笠戸島火振岬	北緯 33° 55'	南北 20.6 km
北端	米川清若	北緯 34° 06'	

4 面積

令和7年4月1日現在

89.34 km²

国土地理院

5 人口

令和7年3月31日現在

総数 56,347 人
 男 27,787 人
 女 28,560 人
 世帯数 26,930 世帯

住民基本台帳

6 地区別人口

住民基本台帳 令和7年3月31日現在

地区名	人 口						世帯数
	日本人			外国人			
	男	女	計	男	女	計	
下松地区	7,535	7,822	15,357	135	100	235	7,929
久保地区	3,986	4,394	8,380	57	16	73	3,914
花岡地区	7,948	8,283	16,231	74	53	127	7,440
米川地区	226	217	443	1	0	1	228
末武地区	7,217	7,255	14,472	174	94	268	6,881
笠戸島地区	310	319	629	124	7	131	538
計	27,222	28,290	55,512	565	270	835	26,930

7 人口の推移

総務省統計局 国勢調査

年次	人 口			世帯数	人口密度 (1 km ² あたり)
	総数	男	女		
大正 9年	23,344	11,895	11,449	5,204	265.5
大正 14年	24,195	12,296	11,899	5,366	275.2
昭和 5年	26,581	13,526	13,055	5,756	302.3
昭和 10年	30,341	15,753	14,588	6,303	345.1
昭和 15年	35,247	18,892	16,355	7,286	400.9
昭和 20年	40,810	20,530	20,280	9,169	464.2
昭和 25年	42,228	21,141	21,087	9,315	480.3
昭和 30年	43,397	21,421	21,976	9,654	493.6
昭和 35年	44,711	22,174	22,537	10,469	506.8
昭和 40年	47,401	23,691	23,710	12,170	535.7
昭和 45年	49,627	24,584	25,043	13,695	560.4
昭和 50年	55,825	27,801	28,024	16,136	619.9
昭和 55年	54,803	26,821	27,982	16,931	607.4
昭和 60年	54,445	26,232	28,213	17,362	603.3
平成 2年	53,030	25,517	27,513	17,889	593.8
平成 7年	53,471	25,623	27,848	19,132	598.7
平成 12年	53,101	25,433	27,668	20,101	594.2
平成 17年	53,509	25,711	27,798	21,127	598.8
平成 22年	55,012	26,535	28,477	22,653	615.6
平成 27年	55,812	27,252	28,560	23,757	624.6
令和 2年	55,887	27,405	28,482	24,718	625.4

※ 各年10月1日現在の数値。平成2年、平成17年は、世帯数の総数に不詳を含む。

II 教育行財政

1 教育長及び委員

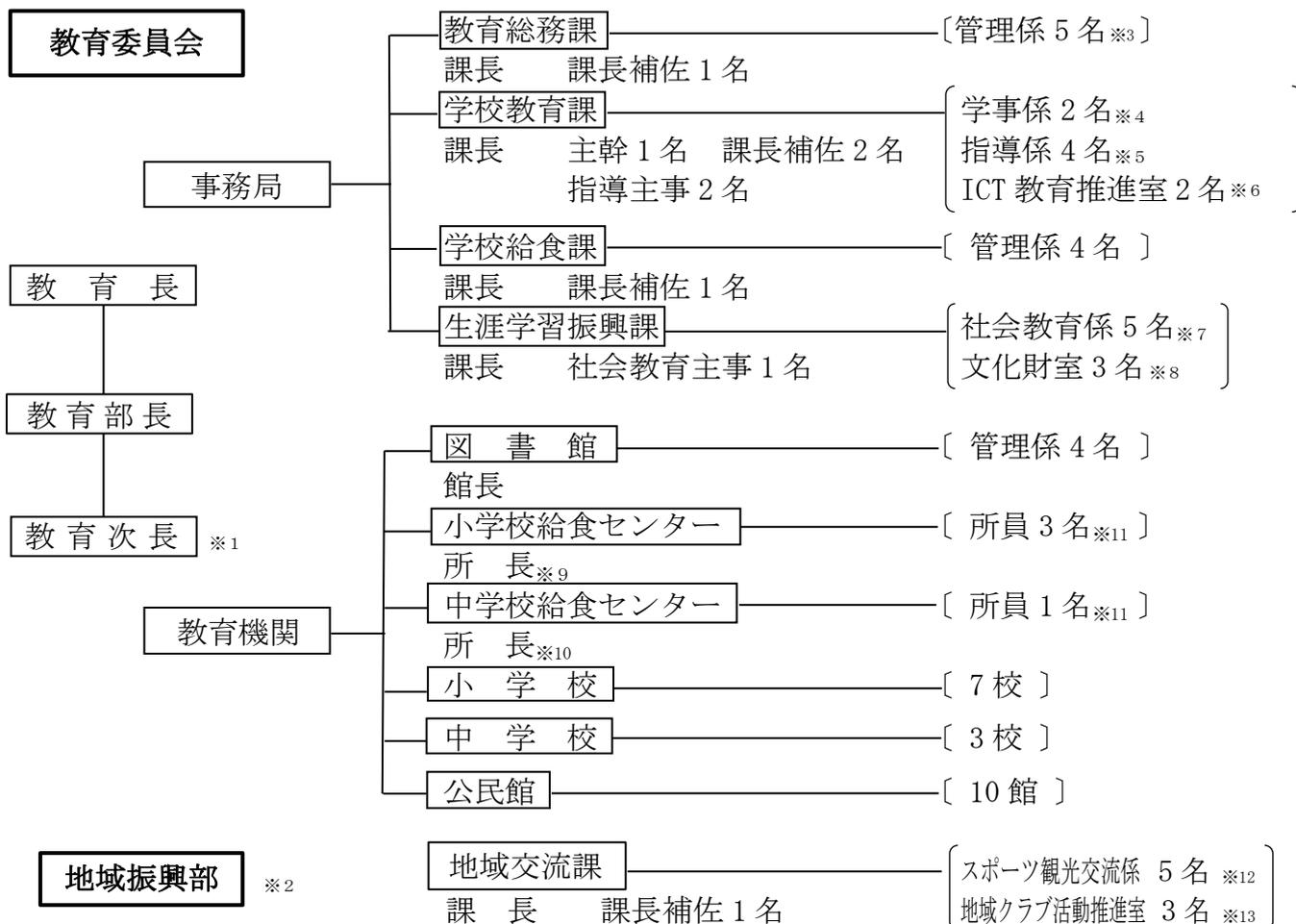
令和7年4月1日現在

役職名	氏名	任期
教育長	玉川良雄	令和4年10月1日～令和7年9月30日
委員 〔教育長職務代理者※1〕	江口雄二	令和3年10月1日～令和7年9月30日
委員	林哲人	令和6年10月1日～令和10年9月30日
委員	木佐谷真理子	令和6年10月1日～令和10年9月30日
委員	笠谷由美子	令和5年10月1日～令和9年9月30日

※1 令和2年10月1日指名

2 教育委員会事務局・教育機関・関係部局

令和7年4月1日現在〔派遣職員・会計年度任用職員を除く。〕



※1 教育総務課長兼務 ※2 スポーツ関連事業は令和2年11月1日から市長部局へ移管 ※3 教育総務課長補佐兼務
 ※4 学校教育課長補佐1名兼務 ※5 学校教育課主幹、課長補佐1名及び指導主事で構成 ※6 学校教育課主幹及び教育総務課職員が兼務
 ※7 社会教育係及び社会教育主事で構成 ※8 文化財室2名は兼務 ※9 学校給食課長が兼務 ※10 学校給食課長補佐が兼務
 ※11 学校給食課管理係職員が兼務 ※12 地域交流課長補佐兼務 ※13 地域クラブ活動推進室2名は兼務

3 令和7年度 下松市教育行政の基本方針

下松市の教育は、下松市教育大綱の基本目標である「多様な教育・学習の機会の充実による、生涯にわたり生き生きと学べるまちづくり」を基調として展開し、次に掲げる基本方針に基づき様々な施策を主体的かつ積極的に進めます。

(1) 安全安心で快適な教育環境の整備

「学校施設長寿命化計画」に基づく施設改修や屋内運動場の照明設備改修、特別教室への空調設置を行うなど、学習環境の向上に努めます。

中学校の生徒用GIGAスクール端末の更新、保健室のネットワーク接続など、学校におけるICT環境の充実を図ります。

(2) 心豊かに生きる力を育む学校づくり

児童生徒一人ひとりが大切にされ、誰もが安心して生き生きと学べる学校を目指します。

「学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育むとともに、学校・家庭・地域が連携・協働した教育活動を充実させ、「ふるさとに誇りをもち、たくましく未来を切り拓く、心豊かな下松っ子」の育成に努めます。

(3) 安全安心で美味しい学校給食の提供

地元食材を活用し、安全安心で美味しい給食の提供及び食育の推進に努めます。

食材費の高騰に伴う学校給食費の児童生徒の改定増額分については、保護者の負担軽減を図ります。

中学校給食センターは、「学校施設長寿命化計画」に基づき、施設改修を行うとともに、大型調理機器等を計画的に更新します。

(4) 生涯学習支援による学びのまちづくり

社会教育・文化施設の環境整備を進めるとともに、青少年の健全育成、生涯学習・文化活動の機会の充実を図ります。

下松市古墳保存整備等検討委員会で「くだまつ歴史の杜」整備準備事業の方向性を確立し、天王森古墳の発掘及び出土埴輪の整理事業を進めます。また、専門職員の指導の元、発掘調査作業員等を配置し、さらなる組織体制の強化を行います。

(5) 市民に親しまれる知の拠点づくり

図書館本館、移動図書館、電子図書館それぞれの利点を生かし、市民の暮らしに溶け込む図書館を目指します。

郷土資料デジタルアーカイブや作成した歴史資料を活用した企画展示、学校との連携によるふるさと学習支援等により、地域の歴史と魅力を発信します。

(6) 集い、繋がり、学びあう、開かれた公民館づくり

誰もが気軽に立ち寄り、人と人とが繋がれる場、自由に学びあえる場となる、開かれた公民館づくりを推進します。

地域に根ざした社会教育施設という特性を保持しつつ、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域住民と一体となって、地域課題の解決に取り組みます。

4 令和7年度施政方針（教育委員会所管部分の抜粋）

第5章 教育文化

1 学校教育の充実

(1) 小・中学校教育環境の充実

安全安心で快適な教育環境を確保するため、「学校施設長寿命化計画」に基づき、公集小学校第1校舎の外壁改修、末武中学校本館棟の長寿命化改修を行います。久保小学校の屋内運動場にLED照明を整備し、豊井小学校と中村小学校の特別教室に空調を設置します。令和6年度末をもって米川小学校を廃校とし、木造校舎を解体します。中学校の生徒用GIGAスクール端末の更新、保健室のネットワーク接続など、ICT環境整備を図ります。学校給食は、地元食材の活用により、安全安心でおいしい給食の提供及び食育の推進に努めます。食材費の高騰に伴う学校給食費の児童生徒の改定増額分については、保護者の負担軽減を図ります。中学校給食センターは、「学校施設長寿命化計画」に基づき、施設改修を行うほか、コンテナ洗浄機等を更新します。

(2) 小・中学校教育の推進

コミュニティ・スクールの連携・協働体制をいかにし、社会総がかりで児童生徒の学びや育ちを支援する教育環境づくりに努めるとともに、地域と共にある学校を児童生徒に啓発するため、子ども版リーフレットを作成します。GIGAスクール構想の実現に向け、ICT担当教育指導員を配置し、教員研修の充実に努めるとともに、タブレット端末等の効果的な活用や情報モラル教育を推進します。障害のある児童生徒等一人一人の教育的ニーズに対応するため、こども支援員を市内全小中学校に配置し、特別支援教育の充実に努めます。不登校児童生徒への支援のため、教室以外の居場所づくりとして校内ラウンジの整備や、児童生徒に寄り添い支援するこころサポーターの配置を行い、校内支援体制の拡充を図るとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等、専門家とも連携し、学校や家庭への支援に努めます。教員業務支援員を全小中学校に、部活動指導員を中学校に配置するとともに、関係団体と連携し地域クラブ活動の選択肢を増やすなど、学校部活動の地域移行に向け体制整備を進め、学校における働き方改革を推進します。

2 社会教育の充実

(1) 青少年の健全育成

放課後子ども教室や家庭教育支援事業、青少年相談事業、地域未来塾などの取組により、健全な青少年の育成や安心して子育てができる教育環境づくりを地域ぐるみで推進します。図書館は、学校との連携による図書館教育やふるさと学習支援を行うとともに、児童図書整備・充実に努め、子どもの読書活動を推進します。青少年eスポーツ体験事業を新たに行うことにより、興味や視野を広げるきっかけを提供し、教育的価値や社会性を育むことにつなげます。

(2) 生涯学習環境の充実

廃校となる米川小学校屋内運動場のトイレ改修を行い、地域コミュニティ施設としての活用を図ります。図書館は、図書館本館、移動図書館、電子図書館それぞれの利点をいかして、市民に親しまれる情報拠点を目指します。郷土資料デジタルアーカイブの更なる充実やこれまでに作成したリーフレット等の歴史資料の活用により、地域の歴史と魅力を発信します。

(3) 生涯学習の推進

公民館での各種団体やサークルの学習活動・地域活動を支援します。公民館講座や出前講座の実施、生涯学習情報コーナーの活用推進のほか、学術機関との協働により、生涯学習機会の拡充を図ります。「笑顔の写真コンテスト」、「くだまつ親子の日フェスタ」、「二十歳(はたち)のつどい」に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった5年前の成人式を「25歳のつどい」として開催します。

3 文化振興と文化財保護

(1) 文化活動の振興

スターピアくだまつは、老朽化した設備を更新し、文化・生涯学習振興の拠点機能の充実を図ります。文化団体への支援等を行うとともに、下松吹奏楽協会及び下松市文化協会の事務局を下松市文化振興財団へ移管することにより、市民による文化活動の活性化を図ります。

(2) 歴史・伝統の保護と活用

天王森古墳を中心とした埋蔵文化財の調査研究を進めるため、調査研究アドバイザーに加え、発掘調査作業員等を配置し、組織体制の強化を図ります。下松市古墳保存整備等検討委員会で「くだまつ歴史の杜」整備準備事業の方向性を確立します。

第6章 市民協働

2 にぎわい創出と魅力発信

(3) スポーツ環境の充実

温水プールを含む多機能複合型スポーツ施設は、民間活力を導入した整備、運営及び維持管理を行うため、実施事業者の選定に向けてアドバイザー業務に着手します。スポーツ公園内の施設補修を行うとともに、体育施設の今後のあり方について、利用状況等を踏まえ検討を進めます。

(4) スポーツの推進

「スポーツ推進計画」に基づき、わがまちスポーツを中心とした競技スポーツやレクリエーションスポーツを推進するとともに、トップアスリートによる各種大会を受け入れ、交流事業を実施します。スポーツ協会やスポーツ推進委員協議会等と協働し、スポーツに親しむ機会の提供による体力向上や健康づくりに取り組み、交流人口の拡大や地域の活性化を推進します。学校部活動の段階的な地域移行を推進するため、関係団体等と連携し、地域で子どもたちが文化・スポーツ活動に継続して取り組める環境づくりを進めるとともに、地域クラブ活動を支援する補助制度を新設します。

3 人権尊重の推進

(1) 人権の尊重

一人一人の人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向け、関係団体と連携を図り、人権啓発、人権教育、人権相談を行います。

5 教育費

一般会計と教育費の推移

年度	一般会計歳出決算額(千円)		対前年比(%)		一般会計に占める割合(%)
	総額	教育費	総額	教育費	
H 8	17,651,460	1,423,184	94	82	8.1
9	18,148,727	1,486,174	103	104	8.2
10	20,160,446	1,515,986	111	102	7.5
11	19,287,247	1,422,358	96	94	7.4
12	17,812,292	2,224,734	92	156	12.5
13	18,053,143	1,786,513	101	80	9.9
14	17,993,636	2,285,926	100	128	12.7
15	17,816,769	2,094,152	99	92	11.8
16	20,527,768	1,809,382	115	86	8.8
17	18,572,650	1,664,952	90	92	9.0
18	17,812,903	1,640,780	96	99	9.2
19	19,964,203	1,387,404	112	85	6.9
20	18,141,577	1,759,451	91	127	9.7
21	18,763,318	1,699,187	103	97	9.1
22	19,729,103	2,260,871	105	133	11.5
23	19,907,294	3,177,285	101	141	16.0
24	17,937,198	1,888,143	90	59	10.5
25	18,405,708	1,934,993	103	102	10.5
26	20,607,999	2,915,516	112	151	14.1
27	21,360,850	3,588,167	104	123	16.8
28	21,343,856	4,070,929	100	113	19.1
29	20,378,512	2,905,588	95	71	14.3
30	21,991,625	3,532,162	108	122	16.1
R 1	24,112,815	4,244,807	110	120	17.6
2	28,181,899	3,682,910	117	87	13.1
3	24,528,603	3,362,127	87	91	13.7
4	24,176,704	3,115,437	92	93	13.9
5	24,087,176	3,079,290	100	99	12.8
6	25,563,842	2,997,333	106	97	11.7
7	26,020,000	3,188,817	102	106	12.3

※令和6年度は決算見込額、令和7年度は当初予算額

6 下松市奨学金制度

下松市では、向学心に燃え、人物・学業が優秀でありながら、経済的理由により就学が困難な方に対し、学業に必要な資金の貸付け（無利子）を行っています。

※財団法人下松市奨学会から平成 24 年 12 月 1 日に事業を、平成 25 年 3 月 1 日に財産を引き継いだものです（財団法人下松市奨学会では、昭和 43 年度に事業開始）。

○奨学金制度の概要 ※貸付期間は在学する学校の正規の修業年数が限度となります。

区分		貸付月額	貸付総額（最大）	返還月額
高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）、専修学校（高等課程）	国公立	15,000 円	※全日制（3 年）の場合 540,000 円	6,000 円
	私立	20,000 円	※全日制（3 年）の場合 720,000 円	6,000 円
高等専門学校（第 1 学年から第 3 学年まで）		15,000 円	900,000 円	6,000 円
高等専門学校（第 4 学年、第 5 学年及び専攻科）		35,000 円	※専攻科の場合 1,680,000 円	14,000 円
短期大学・大学・専修学校専門課程		35,000 円	※4 年制の場合 1,680,000 円	14,000 円

○財団法人下松市奨学会 ※貸付けを行った実人数（採用人数）及び総額（単位：人、円）

年度	高校		大学		合計	
	人数	総額	人数	総額	人数	総額
～H24	70	16,986,000	177	162,195,000	247	179,181,000

○下松市奨学金 ※令和 7 年度の貸付総額は予定額（単位：人、円）

年度	新規採用人数			貸付総額		
	高校	大学	計	高校	大学	計
～R2	6	44	50	3,060,000	62,580,000	65,640,000
R3	0	1	1	0	5,460,000	5,460,000
R4	0	1	1	0	2,940,000	2,940,000
R5	0	3	3	0	2,520,000	2,520,000
R6	1	0	1	120,000	1,260,000	1,380,000
R7	0	2	2	0	1,680,000	1,680,000
計	7	51	58	3,180,000	76,440,000	79,620,000

Ⅲ 学校教育

1 下松教育の基本目標

○ 基本目標：「心豊かに生きる力を育む」

グローバル化や情報通信技術の進展、少子高齢化等による社会の急激な変化に伴い、学校教育には、基礎・基本を確実に身につけ、社会の変化に柔軟に対応し、創造性を発揮しながら持続可能な社会の創り手として、自らの人生を切り拓いていくための資質・能力を育成することが求められています。

このことを踏まえ、本市学校教育においては、「心豊かに生きる力を育む」※1を基本目標に掲げ、児童生徒一人ひとりを大切にし、誰もが安心して生き生きと学べる教育を推進していきます。

※1 本市では「心豊かに生きる力」を、次の両面で捉えています。

「目的を定めた上で、知識技能を活用しながら、現実場面の様々な問題を解決する能力」
「思いやりの心や感謝する心を持ち、他者と協調しながら、よりよい関係を構築する力」

2 めざす児童生徒像

「ふるさとに誇りをもち、たくましく未来を切り拓く、心豊かな下松っ子」

- ・夢や志を抱き、主体的、探求的に学び続ける力を育みます。（知）
- ・生命を大切にし、思いやる心や豊かな情操、郷土への誇りや愛着心（くだまつ愛）を育みます。（徳）
- ・健康や体力づくりの意識を高め、将来にわたり健やかな心身を育みます。（体）

3 下松教育推進上の施策の展開

(1) 地域連携教育の充実

ア 地域とともにある学校づくりの推進

(ア) 目標や課題の共有による主体的な取組の充実

学校・家庭・地域が、めざす学校像や育てたい児童生徒像を共有し、関係者が一体となって課題解決に取り組むとともに、学校・地域連携カリキュラムを活用しながら、学校運営及び教育活動の充実に努めます。

(イ) 児童生徒、教職員、地域・保護者の連携の強化

児童生徒や関係者が当事者意識をもって、学校運営協議会等に主体的に参加し、児童生徒や地域の願いを実現する持続可能な取組を推進します。

イ 地域を愛し、夢と誇りを育む教育の推進

(ア) 自然、歴史、埋蔵文化財や伝統文化等を生かしたふるさと学習の充実

郷土の先人や古墳等の史跡、伝統芸能、文化等について学び、関心・理解を深めるとともに郷土下松への誇りと愛着心を育みます。

(イ) 地域に根ざし、地域の特色を生かした教育活動の推進

地域の人材や施設等、教育資源を積極的に活用して体験的な学習の充実に努めるとともに、地域の人々とふれあう機会を設け、地域の特色を生かした児童生徒の夢を育む教育活動の充実に努めます。

ウ 安全・安心な学校づくりの推進

(ア) 地域ぐるみの学校安全の取組

児童生徒の安心と安全を確保するため、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3領域の総合的な取組を推進するとともに、通学路の安全点検、危険予測学習(KYT)や防災・防犯訓練、危機管理マニュアルの見直し等に取り組みます。また、スクールガード活動など地域ぐるみで児童生徒の安全を見守る環境づくりを進めます。

(イ) 感染症対策の確実な実施

毎日の健康観察や手洗い・うがいの徹底等、国や県の各種通知等に基づき、基本的な感染症対策を確実に実施するとともに、安全・安心な学校づくりを推進します。

エ 校種間の連携教育の推進

(ア) 校種間の授業参観や児童生徒の交流活動の推進

幼稚園・保育所、小学校、中学校間の授業参観や合同研修会等を実施し、教職員が互いに教育内容や指導方法を学び合うとともに、高等学校とも連携しながら、幼児・児童・生徒間の交流活動を積極的に推進します。

幼保・小の連携強化に向けて、モデル地域を設定し、「架け橋期のカリキュラム」を作成する等、取組の一層の充実を図ります。

(イ) 中学校区で育てたい子ども像や重点目標の設定と共通実践

中学校区ごとに、地域の特色や児童生徒の実態、保護者や地域住民等の願いを踏まえて、学習指導や生徒指導上の重点目標を設定し、小・中学校の教職員が共通実践することで、9年間を見通した継続性・一貫性のある教育を推進します。

(2) 学ぶ力を育み、学ぶ喜びを実感できる授業の充実

ア 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進

(ア) 知識・技能の習得と活用する力の育成

知識・技能の活用を図る学習活動を工夫するとともに、横断的・総合的な課題について探求活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力等の育成に努めます。

(イ) 学ぶ意味や喜びを実感できる授業展開の工夫

個別学習や協働的な学習、体験的な活動等を授業の中で意図的に仕組み、児童生徒が学びの意味や価値を実感し、仲間とともに学びを深める喜びや楽しさを味わえる授業づくりを目指します。

(ウ) 個に応じたきめ細かな学習指導とフィードバック

指導方法や指導形態を工夫・改善し、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びの充実を図ります。また、指導と評価の一体化を図ることにより、一人ひとりの学力と学習意欲を高めます。

(エ) ICTの活用と望ましい学習習慣の確立

タブレット端末等の活用を通じて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組みます。また、家庭学習の習慣化による学習の定着を図ります。

(オ) 「キラリくだまつ授業づくり」「振り返りのススメ」を活用した授業改善

児童生徒の学力の確実な定着と向上に向け、学校の課題を明確にし、組織的に授業改善に取り組むとともに、「キラリくだまつ授業づくり」や「振り返りのススメ」等を活用し、日々の授業実践を振り返りながら児童生徒の学習力を育てます。

(カ) 全国学力・学習状況調査等の結果分析を活用した指導体制の充実

国や県が行う学力調査等の結果分析・検証を通して学力向上プランを作成し、学力課題の解決を目指して指導法の工夫・改善に努めます。また、教育内容や時間配分、実施状況に基づく改善を通して、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、カリキュラム・マネジメントの確立に努めます。

イ 自立と社会参加を支える特別支援教育の推進

(ア) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた相談・支援体制の充実

校内委員会等の整備や個別の教育支援計画の作成等、障害のある児童生徒一人ひとりの実情を踏まえたきめ細かな相談・支援体制の充実に努めます。また、相談や支援の充実を図るため、医療・福祉等の関係機関との連携を図ります。

(イ) 教職員の専門性の向上を図る研修の充実

障害のある児童生徒一人ひとりの状況等に応じて適切な指導や支援を行うことができるよう、研修会や事例検討会を計画的に実施し、教職員の専門性の向上に努めます。

ウ 社会の進展に対応した教育の推進

(ア) ICTの効果的活用による授業改善と情報モラルの向上

学校とICT教育推進室の連携により、タブレット端末等を効果的に活用した授業の充実を図ります。また、教職員研修を実施し、教職員のICT活用能力や指導スキルの向上を図ります。家庭とも連携し、情報モラル等に関する指導の充実を図ります。学習用生成AIの利活用については、国のガイドライン等を踏まえ、慎重かつ前向きに導入を検討します。

(イ) グローバル化に対応した教育及び国際教育の推進

ICT活用やALT（外国語指導助手）との交流を通して、英語に慣れ親しみながら、英語でのコミュニケーション能力の向上を図ります。また、諸外国の伝統・文化を理解し、尊重する態度や国際協調・協力を実践する態度の育成に努めます。

(ウ) 未来を切り拓くキャリア教育の推進

小・中学校の9年間を通して、系統的・計画的なキャリア教育を推進し、児童生徒一人ひとりが夢や目標に向かって、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力の育成に努めます。

(3) 健やかな心と体を育む教育の充実

ア 人権教育・道徳教育等、豊かな人間性を育む教育の推進

(ア) 一人ひとりを大切にする人権教育の推進

「山口県人権推進指針」や「山口県人権教育推進資料」を踏まえ、人権尊重の意識を高め、児童生徒一人ひとりを大切にする教育を組織的・計画的に推進するため、校内の推進体制の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が連携した取組を推進します。

(イ) 心に響く道徳教育の推進

「特別の教科 道徳」の趣旨や理念の実現に向け、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図ります。また、「考え、議論する道徳」の授業づくりをさらに進め、授業展開の工夫や魅力的な教材の開発に努めます。

(ウ) 豊かな感性を育む読書活動の推進

全校で取り組む読書活動や学校図書館を活用した授業、ボランティアによる読み聞かせ活動等を通じて、児童生徒の読書への意欲や関心を高め、感性を育む読書活動の充実に取り組みます。また、学校司書の配置を生かし、学校図書館の整備や機能の充実に努めます。

(エ) あいさつ運動や体験活動の充実

児童生徒の豊かな心を育み、明るく住みよい地域づくりを進めるため、学校・家庭・地域が一体となってあいさつ運動を全市的に推進します。また、宿泊体験や勤労体験、自然体験、福祉・ボランティア体験、文化や芸術に触れる体験等、多様な体験を重視した教育活動の充実を図ります。

(オ) 規範意識の醸成及び児童生徒が主体となった校則の見直し

発達段階に応じ、集団生活や社会生活におけるきまりやルール、約束などの規範に基づいて、主体的に判断し行動しようとする規範意識の醸成に努めます。また、校則についても、児童生徒が主体となった見直しを進めます。

(カ) 生徒指導上の諸課題への組織的な取組

いじめや不登校等の諸課題の解決に向けて、児童生徒が自発的・主体的に成長していく過程を支え、未然防止や早期発見・早期対応による積極的な生徒指導に努めます。また、学校・家庭・地域・関係機関が連携を密にし、児童生徒に寄り添う指導や支援の継続的な取組を通して、一人ひとりの自己指導能力の育成に努めます。

イ 体力の向上と健康の保持増進を図る健康教育の推進

(ア) 運動に親しみ、体力の向上をめざす学校体育の充実

児童生徒が自ら進んで運動やスポーツに親しみ、将来にわたって健康で活力ある生活を営むことができるよう、体育科や保健体育科において基礎的な身体能力の育成を図ります。また、特別活動などを生かした学校の教育活動全体を通じて、体力向上への効果的な取組を進めます。

(イ) 学校・家庭・地域のつながりを意識した食育の推進

栄養教諭を中核として、学校や家庭、地域、関係機関と連携しながら、特色ある食育を推進し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせ、自ら健康管理ができる資質能力の育成に努めます。

(ウ) 安全で安心な学校給食の提供

栄養教諭と連携し、学校給食を活用した食に関する効果的な指導に努めるとともに、学校と給食センターが連携を図り、安全で安心な給食の提供に努めます。

(エ) 心身の健康の保持増進を図る健康教育の推進

生活習慣の改善や生活習慣病の予防等に向け、学校保健安全委員会や家庭・地域と連携し、生活リズムや食生活、運動等を含めた望ましい生活習慣の確立に向けた取組を推進します。また、児童生徒の発達段階に応じた性教育や薬物乱用防止教育、がん教育等を計画的・組織的に実施します。

(オ) アレルギー疾患に対する取組の充実

食物アレルギーのある児童生徒が増加する中、アレルギー疾患について理解を深めるとともに、保護者や関係機関等と緊密に連携し、緊急時に全教職員が迅速・適切に対応することができるよう研修の充実に努めます。

(4) 組織的な学校運営の充実

ア 総合力の向上に向けた組織的な学校運営の推進

(ア) 組織のスリム化とチーム学校としての組織力の向上

「チームとしての学校」の実現に向け、校長のリーダーシップのもと校務分掌の再編など校内組織の改善を図ります。また、ICT等を活用しながら校内会議のスリム化を進め、校内における意思決定過程の迅速化を図り、学校全体の組織力の向上に努めます。

(イ) マネジメントサイクルに基づく学校運営の改善

学校評価や教職員評価、授業評価等の実施にあたっては、全教職員がそれぞれの評価の意義と目的を共通理解し、P（計画）・D（実践）・C（評価）・A（改善）のマネジメントサイクルにより学校運営の改善に努め、活力ある学校づくりを推進します。

(ウ) キャリアステージに応じた教職員研修の充実

やまぐち総合教育支援センターや市教育委員会主催による研修会等を効果的に活用し、教職員のキャリアステージに応じた人材育成に計画的・継続的に取り組むとともに、OJTや自己啓発研修を通じて、自らの専門分野の伸長と課題の克服に努めます。

(エ) 管理職研修による学校経営能力の向上

教育法規に基づく適切な学校管理運営や危機管理、学校組織マネジメント、メンタルヘルスマネジメント、服務規律、人材育成、業務改善等に関する管理職研修を充実させ、直面する教育課題に組織的に対応できる、管理職の総合的な経営能力の向上を図ります。

(オ) 下松市教育研究所と連携した研修の充実

今日的な教育課題に対応した調査研究活動の充実、教職員に求められる資質・能力や指導力の向上に向け、専門的な指導ができる教育指導員を配置し、下松市教育研究所の機能の強化を図ります。また、全国の先進地域への教育研修生を派遣し、教育に対する強い情熱と高い志をもった魅力ある教職員の育成に努めます。

(カ) 学校事務の効率化・平準化・適正化に向けた共同実施の充実

事務の共同実施により、事務処理体制の整備や学校事務の効率化・平準化・適正化を図るとともに、教員がきめ細やかな学習指導や教育活動に専念できるための事務処理等の体制づくりに取り組み、教育環境の整備や学校の活性化を図ります。

(キ) 学校における働き方改革及び部活動の地域移行の推進

持続可能な学校運営の構築に向けて、統合型校務支援システムを適切に活用し、教員の業務改善、働き方改革を推進します。部活動の地域移行は、地域や関係団体の協力を得ながら、全市的なサポート体制の整備を進めていきます。

4 学校施設状況

令和7年5月1日現在

	学校名	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)			屋体面積 (㎡)	教室数		プール (m)			
			非木造	木造	計		普通	特別	コース	長	幅	水深
小学校	下松小	29,141	7,453	—	7,453	1,207	29	23	8 6	25 30	13.5 10.0	1.1 0.6
	久保小	13,659	3,932	7	3,939	725	11	14	6	25	14.0	1.2
	公集小	18,156	6,073	—	6,073	904	29	10	5	25	9.0	1.1
	花岡小	21,605	5,197	989	6,186	917	30	12	5 5	25 15	9.0 8.0	1.1 0.8
	豊井小	16,061	2,334	—	2,334	680	6	10	5	25	9.0	1.1
	中村小	11,707	3,492	—	3,492	798	15	8	5	25	9.0	1.1
	東陽小	25,413	3,631	—	3,631	732	9	12	6	25	13.0	1.0
中学校	下松中	30,324	6,119	—	6,119	1,321	15	15	8	25	18.0	1.2
	久保中	24,606	3,906	—	3,906	1,130	10	18	5	25	11.0	1.2
	末武中	33,326	8,795	—	8,795	1,379	34	19	6	25	14.0	1.2

5 市立学校教職員・児童・生徒一覧

令和7年5月1日現在（会計年度任用職員を含む。）

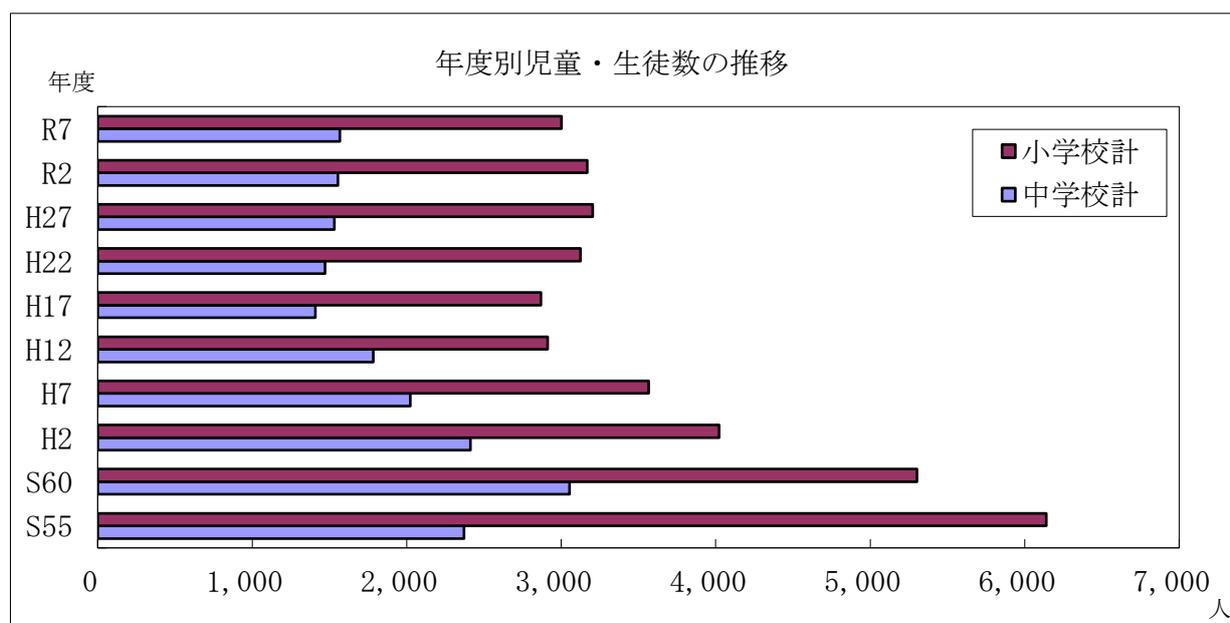
学校名	校長名	教頭名	児童・生徒数			学級数（実数）			教職員（県費）数						職員（市費）数		
			通常	特学	計	通常	特学	計	教諭等	栄教	養護	事務	学栄	計	技術	事務	計
下松小	清角 剛	桑原 泰樹 徳永 淳一	638	38	676	21	6	27	39	1	1	2	0	43	6	1	7
久保小	倉光 範江	石崎 公美	218	14	232	8	3	11	14	0	1	1	0	16	0	1	1
公集小	藤田 康伸	田中 幹人 加藤 剛	756	30	786	24	5	29	40.5	1	1	1	0	43.5	1	1	2
花岡小	中村 哲也	横瀬 理恵	748	35	783	24	7	31	40	0	1	2	0	43	1	1	2
豊井小	小西 恵理	西村 俊彦	51	1	52	5	1	6	8	0	1	1	0	10	0	0	0
中村小	末次 淳義	村田 一朗	320	14	334	12	3	15	18	0	1	1	0	20	0	1	1
東陽小	山縣 佳洋	富田 寛	131	8	139	6	3	9	12	0	1	1	0	14	0	1	1
計			2,862	140	3,002	100	28	128	171.5	2	7	9	0	189.5	8	6	14
下松中	伊東 克典	舛田 亮子	365	16	381	12	4	16	31	0	1	1	0	33	0	1	1
久保中	濱田 匡弘	谷村 直美	217	10	227	8	2	10	15	0	1	1	0	17	0	1	1
末武中	世木 尚	村永 憲久 渡邊 裕史	930	30	960	28	6	34	53	2	2	3	0	60	1	1	2
計			1,512	56	1,568	48	12	60	99	2	4	5	0	110	1	3	4
合 計			4,374	196	4,570	148	40	188	270.5	4	11	14	0	299.5	9	9	16

6 年度別児童・生徒数

(S55～5年ごと)

5月1日現在

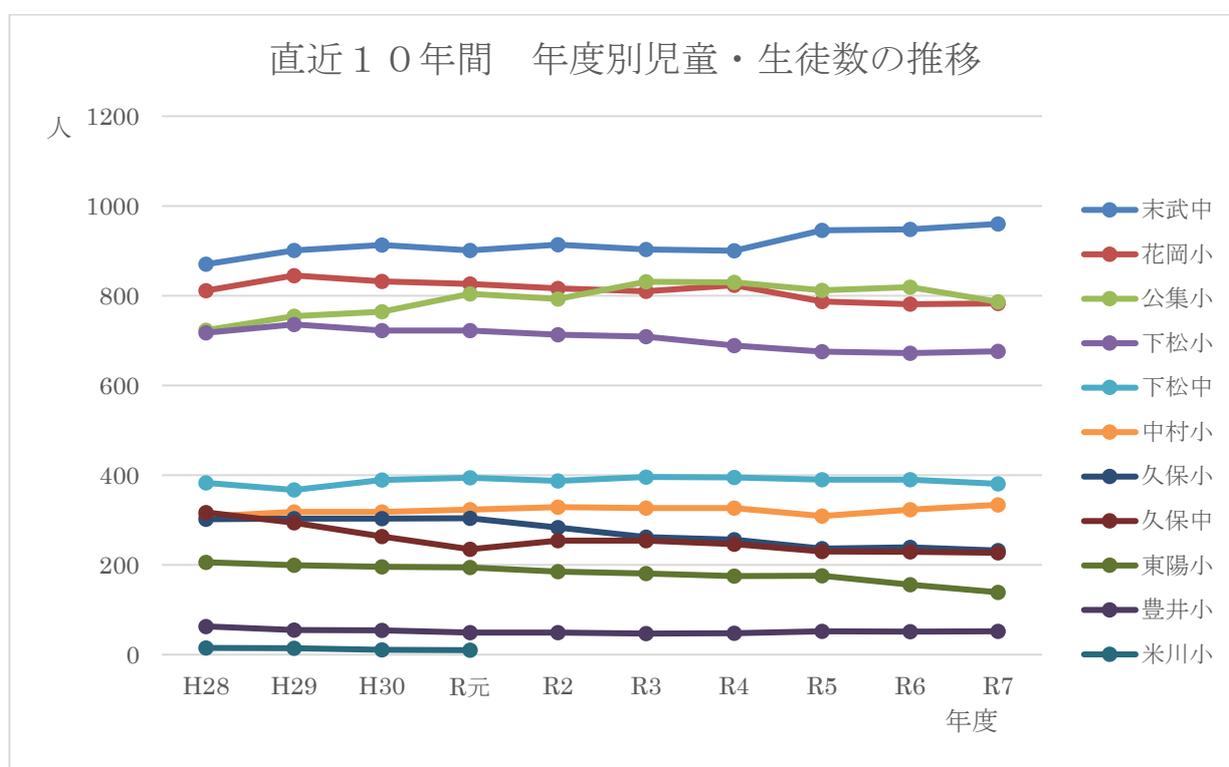
	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R7
下松小	2,170	1,810	1,228	922	673	685	697	715	713	676
久保小	675	710	355	305	244	299	408	320	283	232
公集小	1,017	862	666	574	493	473	570	697	793	786
花岡小	1,363	1,083	772	657	623	676	780	850	816	783
豊井小	220	225	168	108	73	69	68	73	49	52
笠戸小	52	41	37	24	14	7	17	廃校	廃校	廃校
深浦小	119	73	28	13	4	5	休校	廃校	廃校	廃校
江の浦小	108	82	18	14	10	23	15	廃校	廃校	廃校
中村小	350	354	249	268	248	262	270	309	329	334
米川小	67	63	55	48	40	17	9	16	休校	廃校
東陽小	—	—	447	633	490	353	290	223	185	139
小学校計	6,141	5,303	4,023	3,566	2,912	2,869	3,124	3,203	3,168	3,002
下松中	927	1,147	904	666	505	376	376	379	387	381
久保中	278	408	396	464	470	346	319	347	254	227
末武中	1,078	1,410	1,080	873	802	688	779	805	914	960
深浦中	88	89	33	20	7	休校	休校	廃校	廃校	廃校
中学校計	2,371	3,054	2,413	2,023	1,784	1,410	1,471	1,531	1,555	1,568
合計	8,512	8,357	6,436	5,589	4,696	4,279	4,595	4,734	4,723	4,570



(直近10年間)

5月1日現在

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
下松小	717	736	722	722	713	709	689	675	672	676
久保小	302	303	303	304	283	262	256	236	239	232
公集小	723	754	764	804	793	831	830	812	819	786
花岡小	811	845	832	826	816	810	823	787	781	783
豊井小	63	55	54	49	49	47	48	52	51	52
中村小	308	318	318	323	329	327	327	309	323	334
米川小	15	14	11	10	休校	休校	休校	休校	休校	廃校
東陽小	206	199	196	194	185	181	175	176	156	139
小学校計	3,145	3,224	3,200	3,232	3,168	3,167	3,148	3,047	3,041	3,002
下松中	383	367	389	394	387	396	395	390	390	381
久保中	317	294	263	235	254	254	246	230	229	227
末武中	870	901	913	901	914	903	900	946	948	960
中学校計	1,570	1,562	1,565	1,530	1,555	1,553	1,541	1,566	1,567	1,568
合計	4,715	4,786	4,765	4,762	4,723	4,720	4,689	4,613	4,608	4,570



7 特別支援学級児童・生徒数

(1) 知的障害特別支援学級

令和7年5月1日現在

学校名	学級数	児童数							担任数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
下松小	2	4	4	2	5	1	0	16	2
久保小	1	2	1	0	1	0	0	4	1
公集小	1	4	3	0	1	2	1	11	2
花岡小	2	1	3	1	0	2	2	9	2
中村小	1	2	1	0	1	0	2	6	1
東陽小	1	0	1	1	1	0	0	3	1

学校名	学級数	生徒数				担任数
		1年	2年	3年	計	
下松中	1	1	2	2	5	1
久保中	1	0	2	1	3	1
末武中	1	2	2	3	7	1

(2) 病弱・身体虚弱特別支援学級

令和7年5月1日現在

学校名	学級数	児童数							担任数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
下松小	1	1	0	1	0	0	0	2	1

学校名	学級数	生徒数				担任数
		1年	2年	3年	計	
下松中	1	1	0	0	1	1
末武中	1	0	0	1	1	1

(3) 弱視特別支援学級

令和7年5月1日現在

学校名	学級数	児童数							担任数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
下松小	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 難聴特別支援学級

令和7年5月1日現在

学校名	学級数	児 童 数							担任数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
花岡小	1	0	0	0	0	1	0	1	1
東陽小	1	0	0	0	1	1	1	3	1

学校名	学級数	生 徒 数				担任数
		1年	2年	3年	計	
下松中	1	0	0	2	2	1
末武中	1	1	1	1	3	1

(5) 自閉症・情緒障害特別支援学級

令和7年5月1日現在

学校名	学級数	児 童 数							担任数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
下松小	3	1	5	5	4	2	3	20	3
久保小	2	2	1	2	2	0	3	10	2
公集小	3	0	0	6	3	3	7	19	3
花岡小	4	1	8	3	6	3	4	25	4
豊井小	1	0	0	1	0	0	0	1	1
中村小	1	2	1	0	1	2	2	8	1
東陽小	1	0	1	0	0	0	1	2	1

学校名	学級数	生 徒 数				担任数
		1年	2年	3年	計	
下松中	1	1	4	3	8	1
久保中	1	1	3	3	7	1
末武中	3	8	8	3	19	3

8 児童・生徒体位比較表

令和6年度（全国、山口県は令和5年度）

性別	学別	年齢	身長(cm)			体重(kg)		
			下松市	山口県	全国	下松市	山口県	全国
男子	小学校	6	116.9	116.0	116.1	21.6	21.2	21.2
		7	123.0	122.2	122.3	24.5	24.3	24.2
		8	128.6	127.8	127.2	27.8	27.0	26.6
		9	134.1	133.4	133.0	31.4	30.8	30.4
		10	139.6	139.5	138.9	35.3	35.7	35.0
		11	146.2	145.2	144.5	39.9	39.3	37.9
	中学校	12	154.2	153.4	152.3	45.8	45.2	43.9
		13	161.1	159.9	160.2	50.6	49.5	49.3
		14	166.0	165.2	164.9	54.9	54.4	55.1
女子	小学校	6	116.0	115.3	115.1	21.2	21.0	21.1
		7	122.1	121.2	121.3	24.0	23.3	23.7
		8	127.8	127.2	126.8	27.0	26.7	26.7
		9	134.4	133.4	133.8	31.0	30.1	30.6
		10	141.4	140.4	139.9	35.3	34.6	34.9
		11	147.9	146.8	146.5	40.2	39.1	38.6
	中学校	12	152.3	151.6	151.3	44.5	43.9	43.7
		13	155.0	154.3	154.1	47.6	47.2	46.1
		14	156.4	155.8	155.5	49.8	49.6	48.8



9 下松市教育支援センター「希望の星ラウンジ」

(1) 設置の目的

不登校児童生徒に集団生活への適応と自立を促すための指導及び援助を行うことにより、学校生活への復帰等を支援するため。

(2) 施設の概要

ア 所在地	下松市大字笠戸島字尾泊1534番地の14
イ 敷地面積	1,023.79㎡
ウ 建物	鉄筋コンクリート2階建 688㎡ 1階 事務室兼指導室、研修室兼食堂、ホール 2階 ミーティングルーム、学習室

(3) 開設日時等

ア 開設日時	平日の9時00分から15時00分まで
イ 休館日	土曜日及び日曜日、国民の祝日及び休日 8月13日から8月16日まで 12月28日から翌年1月4日まで その他、センターが特に必要と認める日
ウ 入室対象	市内の小学校又は中学校に在籍する児童生徒
エ 入室申込	在籍する学校の校長の承認を得て、教育委員会へ入室申請書を提出

(4) サテライトルーム

ア 開設場所	末武公民館内（下松市潮音町1丁目1番2号）
イ 開設日時	水曜日 9時30分から12時00分まで
※	必要に応じて、市内公民館内に開設

10 学校給食

小学校では、昭和26年に全校で完全給食となり、自校調理による給食を実施してきたが、学校給食衛生管理基準に適合させ、安全・安心な学校給食を実施するため、小学校給食センターを建設し、平成28年9月から全小学校を対象に共同調理場方式による給食に移行した。

中学校では、昭和40年にミルク給食を開始し、昭和63年から深浦中で完全給食を行い、下松中、久保中、末武中についても中学校給食センターを建設し、平成8年4月から完全給食を始めた。

米飯給食については、昭和56年度から小学校で、昭和63年度から深浦中で週2回を実施してきた。平成8年度からは、よりよい学校給食を実施するため、小中学校全てにおいて週3回、平成22年度からは、中学校において週3.5回の米飯給食を実施し、平成28年9月からは、小学校において週4回の米飯給食を実施、平成30年4月からは、中学校においても週4回の米飯給食を実施している。

(1) 実施方法

両給食センターで調理・配送する共同調理場方式で実施。調理・配送については、業者へ委託。

(2) 小学校給食センターの概要

ア 所在地	下松市葉山2丁目904番地68
イ 敷地面積	8,621.71㎡
ウ 建物	鉄骨造平屋建 2,491.09㎡ 1階 事務室、食育ホール、見学ホール、更衣室、休憩室、洗濯室、準備室、荷受室、検収室、食品庫、計量室、貯米庫、下処理室、炊飯室、揚物・焼物・蒸物室、アレルギー対応室、煮炊き調理室、和え物室、洗浄室、コンテナプール、ボイラー室、防災備蓄庫ほか
エ 調理能力	4,000食/日

(3) 中学校給食センターの概要

ア 所在地	下松市潮音町2丁目16番38号
イ 敷地面積	2,657.82㎡
ウ 建物	鉄骨造2階建 890.07㎡ 1階 事務室、準備室、検収室、調味料庫、食品庫、米庫、冷凍室、冷蔵室、調理済食品専用冷蔵室、下処理室、炊飯コーナー、揚物・焼物コーナー、カッティングコーナー、煮炊コーナー、洗浄コーナー（洗浄・消毒室）、コンテナプール、残菜室、ボイラー室 2階 会議・研修室、男子休憩室、女子休憩室、シャワー室、湯沸室、洗濯室、見学廊下
エ 調理能力	2,100食/日

(4) 学校給食費

年度	調定額 (円)	収入額 (円)	収納率 (%)	給食費単価 (円)	
				小学校	中学校
R3	247,183,381	246,378,051	99.67	255	305
R4	241,410,834	239,963,639	99.40	255	305
R5	243,103,274	241,200,948	99.22	255	305
R6	244,332,928	241,879,607	99.00	255	305
R7	246,000,000			275	330

※令和3年度から令和5年度は決算額、令和6年度は決算見込額、令和7年度は当初予算額



IV 社会教育

1 社会教育分野別努力事項

(1) 青少年の健全育成

- ア 地域ぐるみでの青少年活動の推進
- イ 青少年育成団体の活動支援
- ウ 子どもの読書活動の促進
- エ 青少年を取り巻く環境改善活動の推進
- オ 青少年育成の啓発・情報提供
- カ 青少年相談の充実

(2) 生涯学習環境の充実

- ア 公民館の充実
- イ 公民館の施設整備
- ウ 図書館の充実
- エ 移動図書館の充実
- オ 電子図書館の充実

(3) 生涯学習の推進

- ア 生涯学習機会の充実
- イ 生涯学習活動支援の充実
- ウ 生涯学習による人づくり・地域づくり
- エ 市民憲章の普及啓発

(4) 文化活動の振興

- ア 文化活動の支援
- イ 文化行事の開催・充実
- ウ 吹奏楽のまちづくり
- エ 「スターピアくだまつ」の活用促進

(5) 歴史・伝統の保護と活用

- ア 文化財の保護と活用
- イ 歴史・民俗資料の展示・収蔵による活用

(6) スポーツ環境の充実

- ア スポーツ組織の育成・支援
- イ スポーツ指導者の育成・確保
- ウ スポーツ施設の整備・運営

(7) スポーツの推進

- ア 競技スポーツの振興
- イ スポーツの普及
- ウ スポーツイベントの充実
- エ 子どものスポーツ推進



オ スポーツと観光の融合

(8) 人権の尊重

ア 社会教育における人権学習の推進

2 社会教育委員（公民館運営審議会委員兼任）

任期 令和6年6月1日～令和8年5月31日

氏名	選任区分	役職等
清角剛	学校教育	下松市小学校長会会長
世木尚		下松市中学校長会会長
柴崎太志		山口県立下松高等学校校長
橋本貴代	社会教育	下松市子ども会育成連絡協議会会長
古田尊子		下松市連合婦人会会長
木原智成		下松市小中PTA連合会会長
大段宏		下松市スポーツ協会理事長
山野井一也		下松市文化協会会長
廣實久司		下松市スポーツ少年団本部長
田中宏明		家庭教育
原田洋美	NPO法人こども劇場くだまつ代表	
森徳治	学識経験	学識経験者（鋼板幼稚園園長）
金谷匡人		下松市文化財審議会会長
小本輝夫		総合型地域スポーツクラブ会長
内富芳隆		下松市民憲章推進協議会会長
坂田祐次		公益財団法人下松市文化振興財団事務局長

3 人権教育推進委員

任期 令和7年6月1日～令和8年5月31日

氏 名	選任 区分	役 職 等
山 本 陽 子	学 識 経 験	松星苑（第1しょうせいえん施設長）
藤 本 哲 城		山口県教育会下松支部
古 田 尊 子		下松市連合婦人会会長
坂 口 沙 江		下松市子ども会育成連絡協議会
大 木 訓 子		人権擁護委員
村 山 晋 一	教 育 関 係	山口県立華陵高等学校校長
濱 田 匡 弘		下松市中学校長会
山 縣 佳 洋		下松市小学校長会
倉 田 美 和		下松市小中学校PTA連合会
原 田 豊 己		下松市私立幼稚園協会
見 山 祥 昭		下松市保育園協会
有 吉 喜太郎	行 政	下松公共職業安定所
桑 原 健 一		下松市健康福祉部

4 公民館の概要

社会教育の中心施設である公民館は、市内に10館を設置し、それぞれ地域の特色を活かした活動を行っています。

公民館名 所在地 館長名	構造 面積	主な事業
下松中央公民館 下松市大手町2丁目3番1号 桑島 洋明	鉄骨2階 1,702 m ²	高齢者教室、公民館まつり、サークル活動、世代間交流事業、学校協働事業
久保公民館 下松市大字河内583番地1 藤本 泰延	鉄筋2階 998 m ²	家庭教育学級、高齢者教室、公民館まつり、サークル活動、世代間交流事業
末武公民館 下松市潮音町1丁目1番2号 内山 教雄	鉄筋2階 890 m ²	家庭教育学級、高齢者教室、公民館まつり、サークル活動、世代間交流事業
花岡公民館 下松市大字末武上1280番地1 瀬来 輝夫	鉄筋1階 1,017 m ²	公民館まつり、ボランティア登録事業、サークル活動、世代間交流事業
豊井公民館 下松市琴平町2丁目8番7号 大空 之文	鉄筋3階 1,445 m ²	高齢者教室、学校協働事業、家庭教育学級、公民館まつり、サークル活動、世代間交流事業
笠戸公民館 下松市大字笠戸島209番地 森重 則彦	木造1階 275 m ²	公民館まつり、サークル活動、世代間交流事業
深浦公民館（指定管理者：深浦地域づくり推進協議会） 下松市大字笠戸島1117番地1 中村 啓	木造1階 517 m ²	公民館まつり、サークル活動、世代間交流事業
笠戸島公民館 下松市大字笠戸島698番地 河村 貴子	鉄骨1階 368 m ²	家庭教育学級、公民館まつり、サークル活動、世代間交流事業
中村公民館（中村総合福祉センター併設） 下松市瑞穂町4丁目3番12号 大崎 広倫	鉄骨2階 912 m ²	家庭教育学級、ふれあい広場、サークル活動、世代間交流事業
米川公民館 下松市大字下谷167番地1 西村 徹也	鉄筋2階 629 m ²	サークル活動、世代間交流事業

5 図書館の概要

市立図書館は昭和27年4月に開設され、その後、三度の建て替えを経て、平成24年7月に市民交流拠点施設「ほしらんどくだまつ」内に新館開館しました。市民生活に役立つ情報拠点となるべく、蔵書の充実に努めるとともに、移動図書館あおぞら号の機動力を活かし、市内全域における図書館サービスを展開しています。また、令和2年10月には電子図書館を開設し、図書館に来館しなくても、電子書籍を利用できる環境整備を行い、令和5年6月から電子図書館学校連携事業を開始しました。

(1) 施設の概要

- ア 所在地 下松市大手町2丁目3番1号
- イ 建物 鉄骨造 地上2階（一部3階） 1,983.03㎡
一般コーナー、新刊コーナー、郷土資料・調べ物コーナー、児童コーナー（おはなしのへや／親子読み合いの部屋／授乳室／こどもトイレ）・ティーンズコーナー、新聞・雑誌コーナー／インターネットコーナー、持込パソコンコーナー、CD試聴コーナー、ボランティア活動室
- ウ 開館時間 火～金曜日 9時30分～18時30分
土、日曜日 9時30分～17時30分
- エ 休館日 毎週月曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、月例整理日（毎月第4木曜日）、年末年始、蔵書点検期間

(2) 資料

ア 蔵書点数 令和7年3月31日現在

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	計
4,725	6,331	15,738	22,781	14,578	18,175	6,627	261,397 点
芸術	語学	文学	児童	郷土資料	AV	その他	
20,294	3,528	66,492	70,231	7,826	3,800	271	

イ 電子書籍コンテンツ数 14,034点

ウ 定期刊行物 新聞（購入分13種）、雑誌（購入分83種）

(3) 利用状況

令和6年度

本館	開館日数	278日
	貸出点数	(1日平均 1,680点) 466,911点
	貸出人数	(1日平均 396人) 110,032人
移動図書館	巡回日数	150日
	開設ステーション数	53箇所
	貸出点数	(1日平均 208点) 31,218点
	貸出人数	(1日平均 71人) 10,653人
電子図書館	貸出点数	30,098点
	貸出人数	7,772人

6 文化財保護

下松市は、国指定重要文化財 2 件、特別天然記念物 1 件、県指定文化財 3 件、市指定文化財 14 件、その他古墳遺跡 72 件を有しています。

今後もこれらの貴重な文化財の保護の徹底と、民俗文化財の収集、保存に努めるとともに、文化財愛護思想の普及を図ります。

下松市の文化財

令和 7 年 5 月 1 日現在

区 分	名 称	数 量	所 在 地	種 別	指 定 年 月 日
国指定 重要文化財	關伽井坊多宝塔	1 基	下松市大字末武上 (關伽井坊)	建造物	M40. 5. 27
	附 棟 札	5 枚	同 上	—	S54. 2. 3
	周防国下松市宮洲 古墳出土鏡	4 面	東京都台東区 (東京国立博物館)	考古資料	S30. 2. 2
特別 天然記念物	八代のツル およびその渡来地	1 箇所	下松市大字瀬戸	特別天然 記念物	H 元. 8. 14
県指定 有形文化財	金銅如意輪 観音菩薩半跏像	1 軀	下松市大字末武上 (日天寺)	彫 刻	S41. 6. 10
	星 宿 図 (寺伝須弥山図)	1 基	下松市生野屋 3 丁目 (多聞院)	絵 画	S52. 3. 29
県指定無形 民俗文化財	切山歌舞伎	1 団 体	下松市大字切山 切山歌舞伎保存会	無形民俗 文化財	S51. 3. 16
市指定 有形文化財	破邪の御太刀	1 口	下松市大字末武上 (花岡八幡宮)	工芸品	S48. 9. 22
	鉄造鱈口	1 口	同 上	工芸品	S51. 6. 29
	木造千手 観音菩薩立像	1 軀	下松市大字瀬戸 (梁観音堂)	彫 刻	S51. 6. 29
	花岡八幡宮文書	60 通	下松市大字末武上 (花岡八幡宮)	古文書	S48. 9. 22
	木造八幡宮扁額	3 面	同 上	歴史資料	S61. 9. 30
	銅造神馬	1 頭	同 上	彫 刻	S61. 9. 30

区 分	名 称	数 量	所 在 地	種 別	指定年月日
市指定 有形文化財	絹本淡彩 妙見社参詣図	1 幅	下松市中市1丁目 (鷲頭寺)	絵 画	S61. 9. 30
	妙見宮鷲頭寺の 棟 札	3 枚	同 上	歴史資料	H21. 9. 24
市指定有形 民俗文化財	絵 馬 (絵馬1・下絵1)	1 枚	下松市大字末武上 (花岡八幡宮)	絵 画	S48. 9. 22
市指定 記念物	宮原古墳	1 基	下松市大字末武中	史 跡	S48. 9. 22
	降松神社若宮 ヤマザクラ	1 本	下松市大字河内 (降松神社)	天 然 記念物	H19. 5. 1
	旧内藤家庭園	1035. 78 m ²	下松市大字瀬戸	名 勝	H28. 10. 3
	花岡御茶屋ノ榎柏	1 本	下松市大字末武上	天 然 記念物	H28. 10. 3
	天王森古墳	1 基	下松市桜町3丁目	史 跡	H29. 12. 19

7 文化財審議会委員

氏 名	任 期
砂 田 讓 二	令和6年6月1日～令和8年5月31日
田 中 三千男	令和6年6月1日～令和8年5月31日
網 野 ゆかり	令和6年6月1日～令和8年5月31日
金 谷 匡 人	令和6年6月1日～令和8年5月31日
渡 辺 一 雄	令和6年6月1日～令和8年5月31日

8 下松市郷土資料展示収蔵施設「島の学び舎」の概要

下松市郷土資料展示収蔵施設「島の学び舎」は、旧江の浦小学校の校舎の一部を転用し、平成28年10月28日に開設したものです。

これまで下松小学校社会教育棟の歴史民俗資料展示室に収蔵されていた埋蔵文化財や歴史民俗資料を本施設へ移転させ、さらに本市の文化財等郷土資料や笠戸島に関連する資料を収集し、公開しています。

○施設の概要

- ・所在地 下松市大字笠戸島10032番地38(旧江の浦小学校)
- ・開館時間 火、木、土、日曜日、及び祝日 10時から16時まで
- ・休館日 12月29日から1月3日、及び祝日開館した場合の次の開館日

V 社会体育

市民一人ひとりが明るく健康な生活を実現するため、市民生活に密着した健康体力づくりとスポーツ活動の推進に努めるとともに、体育施設の整備充実を図ります。
 なお、スポーツ関連事業については地域振興部地域交流課にて所管しています。

1 体育施設の概要

令和7年5月1日現在

施設名	施設の概要	使用時間
下松市 市民体育館 TEL:41-2832	下松市西柳1丁目1番1号 鉄骨・鉄筋コンクリート造 延床面積 2,543 m ² 収容人員 1階2,000名 2階1,000名	<ul style="list-style-type: none"> 9時～22時 〔日曜日及び祝日法に規定する休日は、9時～17時まで〕 休館日 12月29日～1月3日
下松市 市民武道館	下松市西柳1丁目1番1号 鉄筋コンクリート造 延床面積 544 m ² 柔道 192 m ² (畳96枚) 剣道 192 m ² (板)	令和4年4月1日～ 供用の中止
下松市 公園プール TEL:41-2832	下松市西柳1丁目1番1号 小学生用プール 長さ20m、巾6m 深さ0.7～0.8m 幼児用プール 263 m ² 、すべり台2基 深さ 小プール0.2m～0.28m 大プール0.5m～0.6m	<ul style="list-style-type: none"> 7月21日～8月31日の10時～16時 休場日 上記期間外及び、上記期間中の火曜日
下松スポーツ 公園体育館 TEL:45-3700	下松市大字河内10140番地 鉄筋コンクリート造一部鉄骨 延床面積 4,328 m ² 観覧席2階固定式712席、 車椅子10人分	<ul style="list-style-type: none"> 9時～22時 〔日曜日及び祝日法に規定する休日は、9時～17時まで〕 休館日 12月29日～1月3日
下松スポーツ 公園総合 グラウンド TEL:45-3700	下松市大字河内10140番地 面積22,688 m ² 、固定バックネット3基、 移動バックネット1基、400mトラック、 ソフトボール4面	<ul style="list-style-type: none"> 6時～日没 休場日 12月29日～1月3日

下松スポーツ 公園球技場 TEL:45-3700	下松市大字河内 10140 番地 面積 9,200 m ² (L=115m W=80m) サッカーゴール一般用 1 対、ジュニア 用 2 対、サッカー、グラウンドゴル フ	・6 時～日没 ・休場日 12 月 29 日～1 月 3 日
下松スポーツ 公園 ゲートボール場 TEL:45-3700	下松市大字河内 10140 番地 面積 1,144 m ² (26.55m×21.55m×2 面) 1 面は上屋有	・6 時～日没 ・休場日 12 月 29 日～1 月 3 日
下松市温水プー ル (アクアピア こいじ)	下松市大字河内 10140 番地 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 延床面積 5,072 m ² 25mプール 8 コース、ならしプール、幼 児プール、ワークプール、大会議室、談 話室、観覧室、トレーニング室、浴室ほ か	※令和 5 年 12 月末をも って全館閉鎖
下松市 市民運動場 TEL:41-2832	下松市大字末武下 620 番地 1 敷地 17,773 m ² (駐車場 4,572 m ² を除 く) 固定バックネット 4 基、 夜間照明施設用コンクリートポール 8 基・96 灯	・6 時～22 時 ・休場日 月曜日及び 12 月 29 日～1 月 3 日
下松市 葉山グラウンド TEL:45-3700	下松市葉山 1 丁目 819 番地 34 敷地 18,300 m ² (駐車場を除く) 固定バックネット 2 基	・6 時～日没 ・休場日 12 月 29 日～1 月 3 日
下松市 恋ヶ浜緑地 庭球場 TEL:41-2832	下松市大字東豊井 551 番地 1 敷地 6,627 m ² 、コート 8 面	・9 時～日没 ・休場日 12 月 29 日～1 月 3 日
下松公園 庭球場 TEL:41-2832	下松市大字西豊井 460 番地 敷地 699 m ² (フェンスまわり 36.45m×19.2m)、 コート 1 面	同 上

2 スポーツ推進委員

任期 令和6年4月～令和8年3月

氏 名	氏 名
石 津 孝 弘	内 田 英 雄
中 村 奈 美	石 川 一 明
実 近 幸 子	伊 内 智 治
近 藤 久美子	重 田 宏 文
大 谷 晃	岡 崎 千 春
中 村 由佳里	野 間 淳
高 岡 大 良	井 上 尚 敏
吉 永 雄 史	加 地 幸 秀
森 繁 哲 也	田 原 恵 子
北 風 正 幸	佐 藤 亨
今 井 利 昭	植 田 芳 恵
岩 本 幸 雄	宮 本 純 美



VI 下松市教育研究所

1 研究所の設置

本市教育の全体的振興と教職員の資質の向上を図るため、教育の原理と実践に関する調査・研究を行う目的から、昭和28年2月、「下松市教育研究所」を教育委員会事務局内に設置しました。

このような教育の専門研究機関の設置は県下地教委でも先駆的な施策の一つであり、設置以来本市教育行政や教育水準の向上、さらには、伝統ある「下松教育」の確立とその推進の中心的役割を果たしています。

2 下松市教育研究構想

(1) 研究主題 ～心豊かに生きる力を育む～

ア 研究主題策定の経緯と背景

下松市の教育研究は「豊かな人間性の育成と人間能力の開発を図り、知・徳・体の調和のとれた主体的な人間の育成」を目標として、昭和39年度以来、「学びとりの姿勢を求めて」を主題に研究に取り組み、たゆみない実践研究から先進的な成果を収めてきました。しかし、情報化・国際化・高齢化の進展や価値観の多様化等を背景として、次の時代を担う子どもたちの育成に対応する教育の在り方を求める気運が高まってきました。

平成4年度からは、心の教育の充実、個性の伸張、基礎基本の習熟等をねらった新しい下松教育への展望が望まれる中、これまでの研究成果を継承しつつ、下松市全教職員の総意を反映した研究主題「心豊かに生きる力を育む」を策定しました。

イ 研究概要

「心豊かに生きる力を育む」教育理念は、変化の激しい社会を担う子どもたちに、基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力などの力を育むことにあります。この理念を具現化していくためには、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力といった知・徳・体の調和を図る教育を推進するとともに、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を重視し、これらを調和的に育むことが必要であります。

そこで、研究主題「心豊かに生きる力を育む」の理論構築とあわせ、下松市教育委員会、小・中学校教職員研修会、下松市教育研究所がそれぞれの独自性を保持しながら三位一体となって授業改善に努めてきました。

なお、この間、学習指導要領は大きな改訂を三度※行いましたが、それぞれの改訂の趣旨と本市の研究主題「心豊かに生きる力を育む」の方向性については、根底において全く変わらないものだと捉えています。

※学習指導要領改訂の趣旨（キーワード）

<平成9年告示>基礎基本と「生きる力」の育成

<平成19年度告示>「生きる力」と思考力・判断力・表現力の育成

<平成29年度告示>「生きる力」の育成を目指し、資質能力を三つの柱に整理

(2) 年次別研究副主題

- 第1次（平成4年度～平成6年度）
「自己教育力を目指す授業の設計」
- 第2次（平成7年度～平成10年度）
「豊かな自己の創造を目指す授業」
- 第3次（平成11年度～平成13年度）
「特色ある学校づくりを目指す教育課程の編成」
- 第4次（平成14年度～平成16年度）
「確かな学びを保障する教育の創造」
- 第5次（平成17年度～平成19年度）
「より確かな学びを追究する教育の創造的展開」
- 第6次（平成20年度～平成28年度）
「学びの基盤としての豊かな人間性を培う教育の推進」
- 第7次（平成29年度～令和2年度）
「主体的・対話的で深い学びの実現」
- 第8次（令和3年度～令和5年度）
「たくましく未来を拓く子どもの育成をめざす学校組織マネジメント」
- 第9次（令和6年度～）
「育成すべき資質・能力を育む授業の創造」

これまでの研究で、確かな学力を育てるためには、道徳教育の果たす役割が重要であることを再確認しました。

そこで、平成20年度から、指導や評価に関する研究にとどまらず、豊かな人間性をどのように育成すべきかについて、道徳教育を中心に研究を進めてきました。

その中で、道徳の時間における心に響く道徳教育の在り方や各教科における道徳教育の在り方等を研究し、成果を上げてきました。

平成29年度からは学習指導要領の改訂を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、諸課題の整理、分析を行い、授業改善に取り組むとともに、道徳の教科化に向けて、「考え、議論する道徳」の授業づくりや評価の在り方について研究を深めました。また、ICT機器を活用した協働的で深い学びの実現に向け、学習指導の在り方についての研究を推進しました。

令和3年度からは、学校組織の一員として教員に求められるマネジメント能力に着目し、学校教育目標を達成するための効果的なカリキュラム編成や、地域資源、人材の活用等について研究を進め、組織力や連携力の向上を図りました。

(3) 今年度の研究の方向性

昨年度からは、研究副主題を「育成すべき資質・能力を育む授業の創造」と設定し、昨年度までの学校組織マネジメントの研究成果等を生かしながら、授業実践を中心とした学習改善や指導改善の研究を推進していきます。

本年度からは「くだまつ愛」の醸成を図るために、必要な資質・能力と関連づけた研究に取り組んでいます。

VII 資料

1 沿革・教育年譜

年次	下松市	下松市教育
1939年 (昭和14)	11. 3 下松町・花岡村・久保村・末武南村が合併し下松市制施行	
1940年 (昭和15)	7.19 市章制定	
1941年 (昭和16)		4. 1 各小学校を国民学校に改称
1946年 (昭和21)		1.10 市体育会を体育協会改名 1. 第1回下松一周駅伝競走大会開催
1947年 (昭和22)	7. 1 市役所支所設置(下松・久保・花岡・末武・豊井・江の浦)	2.17 学校給食開始 4. 1 6・3制施行 国民学校を小学校に改称 PTA発足 5. 1 新制中学校一斉開校 一中(下松)、二中(久保)、三中(末武)、四中(花岡)、五中(深浦)
1948年 (昭和23)	2. 2 市役所豊井支所廃止	
1949年 (昭和24)		12.31 下松市社会教育委員設置
1950年 (昭和25)		5.11 下松市連合婦人会発足 8.29 重要文化財に「関伽井坊多宝塔」を指定(文化財指定:明治40年5月27日) 10. 3 第1回下松市美術展改正 11. 3 第1回下松市体育祭開催
1951年 (昭和26)		1.22 下松二中校舎完成 4. 2 下松四中校舎完成 9. 1 下松五中校舎完成 11. 3 下松市文化協会発足
1952年 (昭和27)		1.31 下松三中校舎完成 4. 1 下松市民館開設 深浦小学校江の浦分校を江の浦小学校に昇格 4. 6 下松市立図書館開設 7.31 下松一中校舎完成 11. 1 下松市教育委員会発足 11. 7 第1回下松市民音楽祭開催
1953年 (昭和28)		1.10 下松市民館花岡分館開設 7. 5 笠戸小学校講堂完成

		8. 中・小学校統合整備計画樹立（末武中創設、下松中の移転、各小学校の全面的整備） 12. 15 久保小学校講堂兼公民館完成
1954年 (昭和29)	4. 1 市役所各支所を廃止久保、花岡、末武、江の浦に出張所を設置 11. 1 米川村を編入合併	1. 8 下松一中新校舎第1期工事完了 1. 20 公集小学校講堂完成 4. 1 市立図書館児童室開設 6. 5 下松地方史研究会発足
1955年 (昭和30)	12. 5 県営温見ダム完工式	2. 2 重要文化財に「三角縁盤龍鏡」他3面を指定 2. 5 第1回下松市教育研究大会開催 2. 28 末武中学校校舎完成 3. 26 米川小学校鉄筋校舎、講堂完成 4. 1 中学校校名変更 下松中学校（下松一中）、 久保中学校（下松二中）、 末武中学校（下松三中、四中）、 深浦中学校（下松五中） 6. 29 豊井小学校講堂完成 6. 深浦小学校講堂完成 6. 30 下松市民館を下松中央公民館に花岡分館を花岡公民館に改称 9. 14 市立図書館巡回文庫開始
1956年 (昭和31)		11. 1 下松小学校で道徳教育研究大会開催
1957年 (昭和32)		5. 4 江の浦小学校講堂完成 6. 6 下松交響楽団結成 7. 2 下松市青少年問題協議会設置 9. 15 第1回市民芸能祭開催
1960年 (昭和35)		6. 6 下松中学校屋内体操場完成 9. 20 中村小学校整備事業完了 10. 20 笠戸小学校整備事業完了
1961年 (昭和36)		4. 下松中学校、末武中学校、深浦中学校校舎増築工事完成 5. 20 末武中学校屋内体操場完成 9. 13 運動公園完成（市民体育館・公園プール）
1962年 (昭和37)	4. 1 都濃郡都濃町滝の口地区を編入合併	4. 16 下松小学校校舎整備完成 5. 久保中学校技術教室ほか増築工事完成 6. 深浦中学校技術教室ほか増築工事完成 11. 1 移動図書館開設 下松市教育委員会発足10周年記念式典開催

1963年 (昭和38)	10.28 第18回国民体育大会(ハンドボール競技)下松中、末武中、下松工、市民体育館で開催	3.31 米川小学校大藤谷分校廃校 4.1 久保、末武、豊井、笠戸、深浦、江の浦、中村、米川公民館開設 12.7 久保中学校屋内体操場完成
1964年 (昭和39)		7.14 深浦小学校校舎整備完成 10.26 市民会館及び図書館完成
1965年 (昭和40)	12.2 下松橋上駅完成	2. 久保小学校校舎増改築工事完成 4.10 中学校牛乳給食開始
1966年 (昭和41)		1.21 豊井小学校改築工事完成 6.10 県指定文化財に日天寺の「金銅如意輪観音菩薩半跏像」を指定
1967年 (昭和42)		11.13 教育委員会発足15周年記念教育祭開催 11.27 財団法人下松市奨学会創設認可(明治百年記念事業)
1968年 (昭和43)		4.1 米川中学校を末武中学校に統合、スクールバス運行開始 4.7 市民武道館開設 4.12 深浦中学校屋内体操場完成
1969年 (昭和44)	10.13 市民憲章を市議会で議決	3.11 下松小学校屋内体操場完成 6.11 下松市民憲章制定促進協議会発足
1970年 (昭和45)	10.29 旗岡団地造成事業完工 11.14 笠戸大橋完成	3.7 花岡小学校木造校舎完成 4.1 旧米川中学校跡地に米川小学校校舎新改築移転 11.5 下松教育研究全国発表大会開催
1971年 (昭和46)		3.20 中村小学校屋内体操場及び音楽教室完成 7.20 下松市児童生徒等安全会発足
1972年 (昭和47)	11.3 市民の花をサルビアに決定	3.9 スクールゾーンを設定 7.1 幼稚園就園奨励費補助制度発足 8.10 学制発布100周年、市教委発足20周年記念式典 9.1 洲鼻-豊井小学校間でスクールバス運行開始 9.30 末武中学校技術家庭特別教室完成
1973年 (昭和48) 1973年 (昭和48)		3.27 下松市教育振興財団設立認可 5.22 末武公民館完成 8. 建設労働組合下松支部、小中学校宮繕奉仕開始 9.17 市指定文化財に花岡八幡宮の「絵馬」、「破邪の御太刀」、「花岡八幡宮文書」及び「宮原古墳」を指定
1974年 (昭和49)		3.20 下松小学校鉄筋3階建て校舎完成 3.30 下松中学校技術科教室完成 6.15 公集小学校鉄筋3階建て校舎完成

		6. 25 下松市教育集会所設置 10. 24 市民憲章推進運動第 9 回全国大会を開催 (10/24~10/26)
1975 年 (昭和 50)	12. 10 ヤマモモを市の木に決定	4. 1 下松小学校に特殊学級設置 11. 7 全日本 9 人制バレーボール総合男子選手権大会開催
1976 年 (昭和 51)		3. 16 県指定無形民俗文化財に「切山歌舞伎」を指定 3. 23 花岡小学校鉄筋 3 階建て校舎完成 6. 29 市指定文化財に花岡八幡宮の「鉄造鰐口」、梁観音堂の「木造千手観音菩薩立像」を指定
1977 年 (昭和 52)		3. 14 下松市青少年育成協議会発足 3. 29 県指定文化財に多聞院の「星宿図 (寺伝須弥山図)」を指定 9. 1 下松小学校に「ことばの教室」開設 10. 5 下松市文化振興基金条例制定
1978 年 (昭和 53)		10. 9 下松小学校鉄筋 4 階建て校舎完成
1979 年 (昭和 54)		2. 3 重要文化財に關伽井坊多宝塔の「棟札」を追加指定 4. 2 花岡公民館 (出張所併設) 開館 6. 23 花岡小学校鉄筋 3 階建て校舎完成 9. 20 中村小学校鉄筋 3 階建て校舎及び給食室完成 9. 29 公集小学校鉄筋 4 階建て校舎完成
1980 年 (昭和 55)		2. 4 久保公民館 (出張所併設) 完成 3. 「下松市の民話・伝説と民謡」発刊 3. 31 新市立図書館完成
1981 年 (昭和 56)	11. 24 県道下松鹿野線米川トンネル貫通	3. 5 久保小学校全面改築、新校舎完成 3. 民俗文化財調査書「下松市の石造文化財・祈りと生活」発刊 12. 16 花岡小学校屋内運動場完成
1982 年 (昭和 57)		3. 「下松市の風俗と生活」発刊 4. 1 豊井公民館開館 4. 30 市文化財編集事業スライド「きょうど下松」完成
1983 年 (昭和 58)	3. 26 久保団地造成事業完工 7. 16 はなぐり海水浴場オープン	3. 7 末武中学校鉄筋 3 階建て校舎完成 3. 31 市教委発足 30 周年記念誌「下松市の教育」を発刊
1985 年 (昭和 60)	7. 12 下松市役所新庁舎落成	3. 6 江の浦小学校鉄筋 2 階建て校舎完成 3. 10 米川小学校屋内運動場及び音楽室完成 5. 7 セミナーハウス「笠戸島少年の家」完成

		11. 11 末武中学校柔剣道場完成
1986年 (昭和61)		3. 5 久保小学校屋内運動場完成 3. 20 末武中学校グラウンド拡張事業完成 4. 11 東陽小学校開校式開催 4. 各中学校に教育相談室を開設 5. 10 市青少年室に「ヤングテレホンくだまつ」を開設 7. 24 久保中学校校地拡張事業完成 9. 30 市指定文化財に花岡八幡宮の「扁額」「銅造神馬」、鷲頭寺の「絹本淡彩妙見社参詣図」を指定
1987年 (昭和62)	3. 27 岩徳線生野屋駅開業	2. 28 久保中学校鉄筋4階建て校舎完成 3. 9 公集小学校屋内運動場完成 11. 20 久保小学校屋外教育環境設備事業完成
1988年 (昭和63)		2. 17 下松中学校武道場完成 3. 16 豊井小学校屋内運動場完成 4. 7 深浦中学校で中学校給食を開始 7. 28 市青少年問題協議会が発足 8. 1 英語指導助手を招致し市内中学校で巡回指導開始
1989年 (平成元)		1. 20 第1回市内中学校英語暗唱大会を開催 8. 14 特別天然記念物「八代のツル及びその渡来地」に市内渡来地が追加指定 11. 3 下松市史通史編を発刊
1990年 (平成2)	8. 6 下松工業高校ハンドボール部 全国高校総体で優勝	3. 15 東陽小学校鉄筋2階建て校舎完成
1991年 (平成3)	2. 8 末武川ダム(米泉湖)完工式 3. 27 下松公園に星の塔完成 7. 6 笠戸島家族旅行村オープン 10. 26 下松高校が全日本吹奏楽コンクールで金賞受賞	7. 21 第1回青年海外派遣事業女性1名をニュージーランドへ派遣 7. 25 第1回青少年海外派遣事業「ジュニア大使」として、小学生2名をアメリカ合衆国へ派遣
1992年 (平成4)	8. 10 下松工業高校ハンドボール部 全国高校総体で優勝	9. 12 学校週5日制を実施(月1回) 10. 19 生涯学習推進本部を設置 11. 29 第1回下松市国際交流のつどい開催
1993年 (平成5)	11. 5 ザ・モール周南オープン	1. 28 財団法人下松市文化振興財団発足 3. 10 東陽小学校鉄筋2階建て校舎完成 11. 1 下松市文化健康センター開設 11. 1 文化会館の名称「スターピアくだまつ」に決定
1994年 (平成6)		2. 6 下松市生涯学習推進大会開催 6. 16 下松吹奏楽協会設立
1995年 (平成7)	10. 1 恋路クリーンセンター本稼働	2. 久保中学校屋内運動場完成

		4. 1 下松市民会館を「下松中央公民館」に改組
1996年 (平成 8)	10. 1 温水プール「アクアピアこいじ」オープン	3. 28 中学校給食センター落成式 4. 11 中学校給食がスタートし、県内初の副食複数メニューを導入 11. 1 「下工弁慶号」を永久保存展示
1997年 (平成 9)		7. 22 中央公民館に「生涯学習情報コーナー」開設
1999年 (平成 11)	8. 5 末武大通り全通	1. 15 「成人式」、官民一体化した実行委員会方式で開催 4. 1 「くだまつふれあいラウンジ」開設(末武中学校内) 5. 1 適応指導教室「希望の星ラウンジ」開設(セミナーハウス内)
2000年 (平成 12)	4. 1 ふくしの里に地域交流センター「ふれあいの館」開設	6. 1 新学習指導要領移行措置による「総合的な学習の時間」支援事業開始 9. 義務教育施設整備10箇年計画策定
2001年 (平成 13)	7. 14 21世紀未来博覧会「山口きらら博」開催(～8/30)、8/9「下松市の日」開催	6. 子どもセンター「星の子ネット」設立 9. 8 第1回星のふるまち童謡フェスタ開催
2002年 (平成 14)		4. 1 深浦中学校休校 4. 完全学校週5日制実施 12. 21 心豊かな人づくり事業シンボルマーク、あいさつ運動キャッチフレーズ決定
2003年 (平成 15)		8. 4 下松中学校新校舎竣工式
2004年 (平成 16)	6. 4 切山墓地完成	1. 7 米川小学校交通無事故1万日達成 1. 22 笠戸小学校交通無事故1万日達成 3. 31 末武中学校屋内運動場竣工式 4. 1 笠戸島公民館(出張所併設)開設
2005年 (平成 17)	3. 12 国道2号線開通(切山ー山田)	3. 30 公集小学校普通教室棟竣工式 12. 13 下松市要保護児童対策協議会設置
2006年 (平成 18)	3. 30 市道大手線全通	11. 11 国民文化祭やまぐち2006 星のふるまち童謡フェスタ in くだまつを開催
2007年 (平成 19)		3. 下松市子どもの読書活動推進計画策定 3. 6 花岡小学校管理・特別教室棟、普通教室棟竣工式 4. 1 深浦小学校休校 4. 1 「くだまつふれあいラウンジ」を末武中学校内から公集小学校内に移設 5. 1 市指定文化財に「降松神社若宮ヤマザクラ」「東光寺泉所寺のヤマザクラ」を指定

		6. 18 学校施設耐震化基本計画、第一期年次計画策定 11. 1 「下松市放課後子ども教室」開設（下松小学校区）
2008年 （平成20）	3. 22 華陵高校が第80回選抜高等学校野球大会に出場 4. 1 下松スポーツ公園体育館開設	4. 1 下松中学校に通級指導教室開設 4. 1 全ての体育施設へ指定管理者制度を導入 8. 26 下松市児童生徒等安全会解散
2009年 （平成21）	8. 8 華陵高校が第91回全国高等学校野球選手権大会に出場 11. 14 下松市農業体験型交流施設開設	3. 16 下松中学校屋内運動場竣工式 3. 31 下松市公園プール内50mプール廃止 9. 24 市指定文化財に「妙見宮鷺頭寺の棟札」を指定
2010年 （平成22）	8. 9 「おいでませ！山口国体競技別リハーサル大会」を開催（～8/12）	3. 「心豊かな人づくり事業シンボルマーク」の愛称が「キラリン」に決定 2. 22 花岡小学校普通教室棟増築完成 3. 5 公集小学校特別教室棟完成 3. 28 深浦小学校内に深浦公民館を移転、開館 7. 「下松市市民交流拠点施設整備事業基本計画」策定 10. 31 下松中央公民館建替えのため閉館
2011年 （平成23）	8. 3 華陵高校女子ハンドボール部全国高校総体で優勝 8. 7 華陵高校舞台芸術部全国高校総合文化祭で最優秀賞 10. 1 「おいでませ！山口国体」開催（～10/11）華陵高校女子ハンドボール部優勝 10. 22 「おいでませ！山口大会」を開催（～10/24）	3. 4 下松小学校屋内運動場竣工式 8. 10 「たくましい久保っ子放課後子ども教室」開設（久保・東陽小学校区） 11. 「下松市市民交流拠点施設」の愛称が「ほしらんど くだまつ」に決定
2012年 （平成24）	3. 30 華陵高校女子ハンドボール部第35回全国高等学校選抜大会で優勝	2. 29 下松市立図書館建替えのため閉館 3. 31 下松市市民交流拠点施設「ほしらんど くだまつ」竣工式 4. 1 下松スポーツ公園球技場供用開始 5. 8 下松中央公民館開館 7. 3 下松市立図書館開館 8. 26 「はなおか放課後子ども教室」開設（花岡小学校区） 11. 30 財団法人下松市奨学会解散 12. 1 下松市奨学金運用開始
2013年 （平成25）	8. 2 下松工業高校登山部全国高校総体で優勝	3. 31 深浦中学校廃校 4. 1 下松市文化振興財団が公益財団法人に移行

	8. 6 第16回日本ジャンボリー地域プログラム（下松市歓迎交流事業）実施	9. 4 「公集放課後子ども教室」開設（公集小学校区） 11. 小学校給食センター建設候補地を葉山（周南工流シティー）に選定
2014年 （平成26）	4. 1 下松市上下水道局発足 11. 2 市制施行75周年記念式典挙行	2. 27 公集小学校新校舎完成 3. 31 下松市スポーツ推進計画策定 3. 31 笠戸小学校、江の浦小学校、深浦小学校廃校 7. 27 「くだまつ親子の日」制定（7月の第4日曜日）
2015年 （平成27）	3. くだまつ星の子プラン策定 8. 6 第23回世界スカウトジャンボリー地域プログラム（下松市歓迎交流事業）実施 10. 18 「ねんりんピックおいでませ山口」太極拳交流大会開催 11. 18 切山歌舞伎保存会が文部科学大臣表彰（地域文化功労賞）受賞 12. 15 都市計画道路青木線開通	3. 18 豊井小学校特別教室棟完成 4. 1 深浦公民館に指定管理者制度導入 4. 1 教育総務課に小学校給食センター準備室を設置 6. 6 「下松小・豊井小放課後子ども教室」開設（下松・豊井小学校区） 7. 29 地方教育行政法改正に伴い「下松市総合教育会議」を設置 9. 25 末武中学校新校舎竣工式
2016年 （平成28）	2. 14 くだまつ笠戸島アイランドトレイル開催 3. 3 消防庁舎が完成 8. 1 全国高等学校総合体育大会高松宮記念杯第67回全日本高等学校ハンドボール選手権大会開催（周南市・下松市・光市で引受） 11. 1 国民宿舎「大城」グランドオープン 12. 26 「たくましい久保っ子を育てる会」内閣総理大臣表彰を受賞	3. 25 読書通帳開始 4. 1 市内全校でコミュニティ・スクールとしての取組開始 6. 11 「チャレンジなかむら放課後子ども教室」開設（中村小学校区） 6. 30 下松市教育大綱を策定 8. 1 教育委員会事務局に学校給食課を設置 8. 29 小学校給食センター竣工式 9. 1 下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ公開 9. 2 共同調理場方式の小学校給食スタート 10. 3 市指定文化財に「旧内藤家庭園」「花岡御茶屋ノ榎柏」を指定 10. 18 郷土資料展示収蔵施設「島の学び舎」を開設
2017年 （平成29）	3. 5 「道路を走る高速鉄道車両」見学プロジェクト 3. 空家等対策計画策定 4. 1 防災行政無線運用開始 4. 30 39年ぶりに人口過去最高を更新（56,968人） 6. 1 子育て世代包括支援センター「ハピスタくだまつ」開設	1. 8 図書館来館者100万人達成 1. 17 下松市スポーツ賞創設 3. 17 公集小学校普通教室棟完成 3. 17 中村小学校特別普通教室棟完成 3. 28 下松市市民体育館耐震改修工事完了 4. 1 学校給食費を公会計化 6. 3 ACT SAIKYO との共催により「ACT チャレンジ2017」を開催

	<p>6. 25 徳山下松港国際物流ターミナル新規事業着工</p> <p>12. 9 第 42 回日本ハンドボールリーグ (男子) 開催</p>	<p>11. 17 市立図書館が第 66 回読売教育賞地域社会教育活動部門優秀賞を受賞</p> <p>12. 19 市指定文化財に「天王森古墳」を指定</p>
2018 年 (平成 30)	<p>2. 徳山下松港が特定貨物輸入拠点港湾に指定</p> <p>3. 30 観光振興ビジョン策定</p> <p>3. 業務継続計画策定</p> <p>7. 6 西日本豪雨災害</p> <p>10. 6 「山口ゆめ花博」で「下松市の日」開催</p> <p>10. 23 ゆめタウンくだまつオープン</p>	<p>3. 下松市公民館施設整備計画策定</p> <p>9. 2 下松市文化会館会館リニューアルオープン</p> <p>10. 18 中国地区都市教育長会・定期総会研究協議会を下松市で開催 (～10/19)</p> <p>10. 31 下松小学校管理特別棟完成</p>
2019 年 (令和元)	<p>2. 11 第 43 回日本ハンドボールリーグ (女子) 開催。市出身選手出場</p> <p>3. 20 公式マスコットキャラクター「くだまる」決定</p> <p>7. 14 「道路を走る高速鉄道見学プロジェクト」開催</p> <p>8. 9 クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」寄港</p> <p>8. 25 「みなとオアシスくだまつ☆笠戸島」が国土交通省の「みなとオアシス」に登録</p> <p>9. 3 JR 下松駅南北自由通路バリアフリー工事完成</p> <p>10. 1 米川コミュニティバス (米泉号) 運行開始</p> <p>11. 2 市制施行 80 周年記念式典挙行</p> <p>12. 27 児童遊園等を都市公園に編入</p>	<p>3. 20 下松市公式マスコットキャラクター選挙開票</p> <p>3. 31 下松市スポーツ推進計画改定</p> <p>4. 1 公集小学校に通級指導教室開設</p> <p>4. 1 中村公民館が中村総合福祉センター内に併設</p> <p>4. 9 「東京 2020 オリンピックキャンプの実施に関する協定」を下松市、ベトナムバドミントン連盟、ACT SAIKYO の三者で締結</p> <p>5. 19 「末武未来塾」開校</p> <p>6. 16 「宝くじスポーツフェアはつらつママさんバレーボール」開催</p> <p>6. 18 桃田賢斗選手らを擁するバドミントン「NTT 東日本 (男女)」チーム及び奥原希望選手の合宿受入れ・交流 (～6/21)</p> <p>7. 24 下松市制施行 80 周年記念大島商船高専練習船「大島丸」夏休み親子体験乗船実施</p> <p>9. 17 ベトナム女子バドミントン「東京 2020 オリンピック」候補グエン・トゥイ・リン選手事前キャンプ受入れ・交流 (～9/28)</p> <p>10. 13 下松市民体育祭をリニューアルし、「下松スポーツフェスティバル 2019」として開催</p> <p>11. 2 「復刻版 秋の夜話」出版</p> <p>11. 19 下松市制施行 80 周年記念・下松市民憲章制定 50 周年記念小学生によるプレゼンテーション「10 年後の下松を夢見て」開催</p>

<p>2020年 (令和2)</p>	<p>2. 女性活躍推進協議会設置 3.6 新型コロナウイルス感染症対策本部会議設置 3. 下松市男女共同参画推進本部設置 3. 市自殺対策計画策定 4.1 子ども家庭総合支援拠点開設 4.15 公式 youtube チャンネル開設 12.11 BADMINTON S/J LEAGUE WEST IN YAMAGUCHI 2020 開催(～12/13)</p>	<p>3.2 市内小中学校を新型コロナウイルス感染症拡大防止のために臨時休業(～5/24) 3.24 笠戸公民館完成 3.27 下松スポーツ公園体育館に空調設備設置 3.31 中村小学校屋内運動場完成 3. 下松市学校施設長寿命化計画策定 4.1 米川小学校休校 4.1 米川-花岡小学校間でスクールバス運行開始 4.1 スポーツ公園体育館に空調設備を設置 6.21 「末武未来塾」を「くだまつ未来塾」に改称 9.～ 児童生徒一人一台端末の整備開始(GIGAスクール構想) 10.30 電子図書館運用開始 11.1 下松市組織改編によりスポーツ関連事業を教育員会生涯学習振興課から地域政策部地域交流課へ移管 12.1 古地図リーフレット「下松で古地図さんぽ」発行 12. 下松小学校通級指導教室棟完成</p>
<p>2021年 (令和3)</p>	<p>1.21 豊井土地区画整理事業事業計画廃止の広告 2.20 栽培漁業センターの愛称「ひらめきぱーく笠戸島」に決定 3.31 公共施設残土処理場閉鎖 5.6 新型コロナウイルスワクチン接種開始 6.12 観光協会案内所をJR下松駅南口に開設 10.8 BADMINTON BANK LEAGUE in 山口 2021 開催(～10/10) 12.5 「くだまるのうた」完成 12. DX推進計画作成</p>	<p>3. 下松市社会教育施設等長寿命化計画策定 4. 下松小学校普通教室棟完成 4.1 スポーツ公園体育館のネーミングライツ・パートナー及び愛称(トラックワンアリーナ)決定 4.30 市指定記念物「東光寺泉所寺のヤマザクラ」の指定を解除 5.13 東京オリンピック聖火リレー下松市の走行中止 6. 東京オリンピックベトナム女子バドミントン選手の事前キャンプ受入中止 8.15 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期した令和3年成人式を中止 12.4 「星のふるまち童謡フェスタ2021FINAL」を開催</p>
<p>2022年 (令和4)</p>	<p>1.29 第47回日本ハンドボールリーグ開催 2. 「くだまる子育て応援アプリ(母子モ)」本格運用開始 2.28 「くだまつものづくりアーカイブズ」作成</p>	<p>4.1 教育委員会学校教育課に「ICT教育推進室」を設置 4.1 恋ヶ浜緑地庭球場人工芝敷設 4.1 武道館使用中止 5.4 延期されていた令和4年成人式開催</p>

	<p>3. 26 下松市タウンセンターの愛称が「キラル」に決定</p> <p>6. 23 クイーンズサーキット 2020「下松大会」開催</p> <p>11. 1 都市計画道路大海線一部開通</p>	<p>5. 24 第 1 回下松市民憲章実践者表彰（5 団体・1 人）</p> <p>7. 14 天王森古墳周辺においての形象埴輪群の出土並びに大刀形埴輪及び円筒埴輪の復元を発表</p> <p>8. 16 図書館来館者 2 0 0 万人達成</p>
2023 年 (令和 5)	<p>1. 31 中国電力下松発電所廃止</p> <p>2. 1 証明書自動交付機を市役所に設置</p> <p>3. 内水ハザードマップ作成</p> <p>3. 地域公共交通計画策定</p> <p>11. 5 下松タウンセンター・キラルがリニューアルオープン</p> <p>11. 22 「笠戸のさば」完成披露</p>	<p>1. 8 成人年齢の引き下げにより成人式を二十歳のつどいへと名称を変更し開催</p> <p>1. 29 市内初 e スポーツイベント開催</p> <p>3. 24 花岡公民館講堂完成</p> <p>4. 1 教育委員会生涯学習振興課に「文化財室」を設置</p> <p>6. 天王森古墳出土「巫女埴輪」「家形埴輪」復元</p> <p>7. 21 県立山口博物館特別展「やまぐち大考古博」に市内出土埴輪を出品（～9/3）</p> <p>8. 花岡小学校配膳室完成</p> <p>11. 18 下松小吹奏楽部全日本小学生バンドフェスティバルで金賞受賞</p> <p>12. 28 下松市温水プール全館閉鎖</p>
2024 年 (令和 6)	<p>3. 第 2 期下松市スポーツ推進計画策定</p> <p>3. 地域クラブ活動推進プラン策定</p> <p>3. 31 立地適正化計画策定</p> <p>3. 困難女性支援基本計画策定</p> <p>4. 1 公式 LINE アカウント・市民レポートサービス運用開始</p> <p>4. 27 「道路を走る鉄道車両」見学プロジェクト</p> <p>9. 26 「笠戸のあじ」完成披露</p> <p>10. 1 公共施設オンライン予約サービス導入</p> <p>11. 2 市制施行 85 周年</p>	<p>3. 27 花岡小学校特別教室棟完成</p> <p>4. 1 花岡小学校に通級指導教室開設</p> <p>5. 21 古墳保存整備等検討委員会設置</p> <p>7. 中学生等海外語学研修、オーストラリアケアンズ市に変更し 5 年ぶりに再開</p> <p>8. 23 下松市お宝ガチャ販売開始</p> <p>10. 5 天王森古墳出土「盾形埴輪」2 体復元</p> <p>10. 30 「はにわと下松 古代のロマン展 2024 ～古から今～」開催</p> <p>11. 2 「下松市平成の記録」発刊</p> <p>12. 14 下松吹奏楽協会 30 周年記念「トルヴェール・クワルテット」コンサート開催</p>
2025 年 (令和 7)	<p>3. 26 クナイパーク（恋ヶ浜緑地公園）リニューアルオープン</p> <p>4. 1 新斎場「思い出の杜ホール」供用開始</p> <p>5. 25 徳山下松港に日本最水深（19 m）の公共栈橋完成</p> <p>6. 住みよさランキングで全国第 8 位</p>	<p>3. 31 米川小学校廃校</p> <p>6. 文化協会及び下松吹奏楽協会の事務局を文化振興財団に移管</p>

2 教育関係団体一覧

令和7年7月1日現在

団体名	目的	会(団)長 副会(団)長	事務局	単位会 団 数	結 成 年月日
下松市小中学校 P T A 連 合 会	各小中学校P T Aの連絡協 調、教育振興並びに児童生徒 の幸福の増進	会 長 木原 智成 副会長 黒葛原 健太郎	下松小学校内 (41-0062)	10 単位会	H 8. 5. 21
下松市子ども会育成 連絡協議会	市内子ども会相互の連絡協 調、及びその組織化と活動の 活発化による青少年の健全育 成	会 長 橋本 貴代 副会長 米田 友彦	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)	30 単位会	S37. 2. 23
下松市連合婦人会	市内婦人会相互の連絡協調、 婦人の教養並びに社会的地位 の向上、地域社会の発展に貢 献	会 長 古田 尊子 副会長 磯永 千代子 菊本 涼子	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1871)	4 単位会	S24. 9. 13
下松市文化協会	組織的文化活動の推進と市民 文化の向上	会 長 山野井 一也 副会長 鳴川 辰夫 岡 香代子	公益財団法人下松 市文化振興財団 (41-6800)	42 団体	S26. 11. 3

団 体 名	目 的	会 (団) 長 副会(団)長	事 務 局	単 位 会 団 数	結 成 年 月 日
下松市民憲章 推進協議会	市民憲章が真に市民生活の中 に融和するよう実践方法を策 定し、これを推進	会 長 内富 芳隆 副会長 磯永 千代子 山本 泉	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)	91 団体	S44. 9. 29
下松地方史研究会	下松地方史研究とその発展	会 長 弘中 義雄	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)		S29. 6. 5
下松市スポーツ協会	市内スポーツ団体相互の連絡 協調、スポーツの普及振興、 競技力の向上	会 長 弘中 佑兒 副会長 江村 勝利	下松市地域交流課 (45-1820)	25 団体	S17. 4. 1
下松市婦人スポーツ 同好会	婦人スポーツの普及振興	会 長 山崎 まゆみ 副会長 山下 恭子	山崎 まゆみ方		S40. 9. 1
下松市スポーツ 少年団本部	市内スポーツ少年団の連絡協 調及び指導育成	本部長 廣實 久司 副本部長 大野 秀生 黒岩 政信 河内山洋一 副本部長兼指導者協議会会長 平田 恵三	下松市地域交流課 (45-1820)	21 単位団	S41. 4. 1

団 体 名	目 的	会 (団) 長 副会(団)長	事 務 局	単 位 会 団 数	結 成 年 月 日
日本ボーイスカウト 山口県連盟下松第1 団	野外活動、奉仕活動による団 体生活規律を通じての青少年 の健全育成	団委員長 新谷 満雄 副団委員長 武居 良裕	新谷 満雄 方		S26. 4. 1
日本ボーイスカウト 山口県連盟下松第5 団	野外活動、奉仕活動による団 体生活規律を通じての青少年 の健全育成	団委員長 西山 茂嘉 副団委員長 弘中 勝利 山野 俊江	副団委員長 弘中 勝利 方		H 4.10.27
ガールスカウト 山口県第10団	野外活動、奉仕活動による団 体生活規律を通じての健全育 成	団委員長 岩本 綾子	岩本 綾子 方		S24.10
下松ユネスコ協会	地域社会の向上と世界平和に 寄与し国際理解と国際協力の 推進	会 長 弘中 孝典 副会長 藤井 成紀	弘中 孝典 方		S46. 5.31
下松市青少年育成 協議会	心身ともに健全な青少年を育 成するため、適切な実践方法 を策定、推進	会 長 猪本 英雄 副会長 藤江 旬仁 三池 孝道 小林 拓宏	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)		S52. 3.14

団 体 名	目 的	会 (団) 長 副会(団)長	事 務 局	単位会 団 数	結 成 年月日
心豊かな子どもを育てる推進事業協議会	いじめ、暴力行為、不登校、少年非行など児童生徒の問題行動等の予防や解決と児童生徒の健全育成に向け、地域のネットワークを踏まえた実践的な取組の推進	会 長 林 哲人 副会長 伊東 克典	下松市教育委員会 学校教育課 (45-1869)		H20. 4. 1
下松市教職員研修会	教職員の職能向上、全市的学校教育の振興	(小)会 長 倉光範江 (小)副会長 小西恵理 (中)会 長 伊東克典 (中)副会長 舛田亮子	久保小学校内 (46-0707) 下松中学校内 (41-0761)		S25. 4
下松市校外生徒指導連盟	児童生徒の校外生活指導及び街頭補導	会 長 伊東 克典 副会長 原田 成光 中村 哲也	下松中学校内 (41-0761)		S31. 5
切山歌舞伎保存会	切山歌舞伎の保存と伝承	会 長 兼子 慎吾	兼子 慎吾 方		S49. 9. 27

団 体 名	目 的	会 (団) 長 副会(団)長	事 務 局	単位会 団 数	結 成 年月日
切山歌舞伎後援会	切山歌舞伎保存活動の後援	会 長 藤井 莊太郎	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)		S50. 6. 30
下松吹奏楽協会	吹奏楽を“郷土くだまつ”の シンボルとしての発展へ貢献	会 長 中馬 好行 副会長 伊東 克典 中村 隆征 安野 政行	公益財団法人下松 市文化振興財団 (41-6800)		H 6. 6. 16

3 放課後児童クラブ（児童の家）

令和7年4月1日現在

施設名 所在地	対象校	児童数							職員数	電話番号
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
下松児童の家1・2 下松市大字西豊井698番地	下松小	29	25	22	18	18	8	120	6	41-6566
下松児童の家3・4 下松市大字西豊井698番地		25	28	26	17	13	6	115	4	41-0405
久保児童の家1・2 下松市大字河内944番地24	久保小	16	24	15	14	9	6	84	6	46-3780
ほがらか児童の家 下松市大字山田256番地		5	10	3	3	4	1	26	5	47-1717
公集児童の家1・2 下松市潮音町1丁目2番22号	公集小	62	66	51	1	0	0	180	6	43-4239
公集児童の家3・4・5 下松市潮音町1丁目2番1号		※令和7年6月20日開所							44-8119	
花岡児童の家1 下松市大字末武上264番地5	花岡小	16	19	19	12	10	0	76	5	44-1042
花岡児童の家2・3・4・5 下松市大字生野屋412番地1		64	49	44	37	30	17	241	12	44-0500
豊井児童の家 下松市大字東豊井1134番地	豊井小	5	6	10	5	8	1	35	2	41-2671
中村児童の家1・2 下松市清瀬町2丁目4番11号	中村小	42	31	13	18	7	4	115	5	41-7343
東陽児童の家 下松市東陽4丁目17番1号	東陽小	10	7	10	9	3	3	42	5	080- 4320-3212

4 私立幼稚園

令和7年5月1日現在

幼稚園名 所在地	園長名	園児数				クラス 数	教職員数			電話番号
		3歳	4歳	5歳	計		副園長	教員	職員	
下松暁の星幼稚園 下松市旗岡1丁目5番1号	原田 豊己	10	13	13	36	2	-	5	-	41-4019
幼保連携型認定こども園 四恩幼稚園 下松市大字末武上 1235 番地	見山 任昭	44	33	51	128	6	1	16	1	43-7245
江口幼稚園 下松市大字東豊井 1059 番地 17	福田 徳子	17	19	16	52	4	-	7	1	41-2570
認定こども園 下松慈光幼稚園 下松市大字西豊井 773 番地 1	内山 勝美	36	33	35	104	7	1	14	3	41-0330
認定こども園 末光幼稚園 下松市桜町1丁目2番14号	杉尾 久子	31	33	23	87	6	1	14	2	41-3866
下松幼稚園 下松市大手町1丁目5番10号	林 智之	22	23	28	73	4	-	7	7	44-1705
鋼鈺幼稚園 下松市美里町1丁目9番1号	森 徳治	33	32	34	99	6	-	7	-	43-0581

5 県立高等学校

令和7年5月1日現在

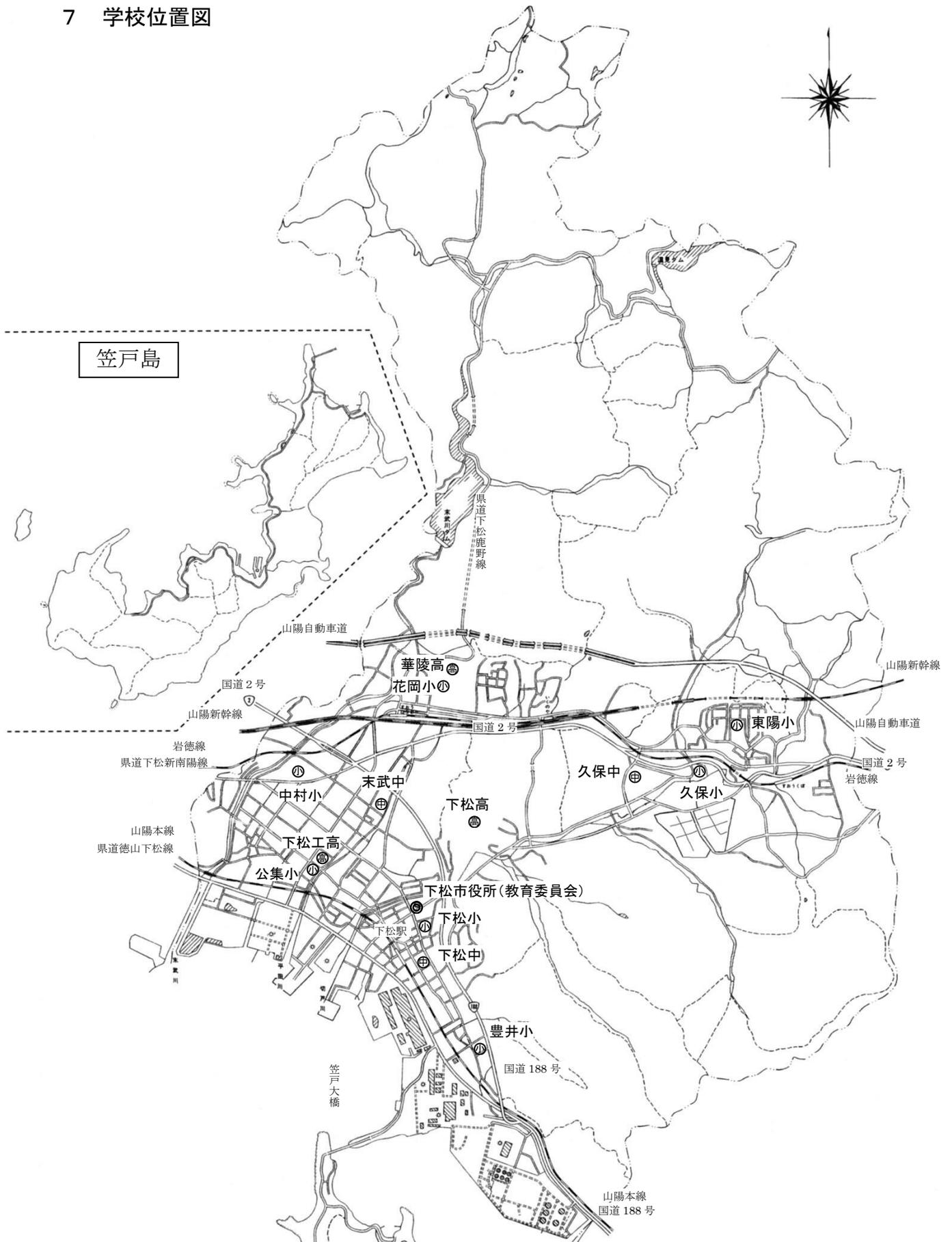
学校名	校長名	教頭名	学科名	生徒数						学級数	教員数	教職員数	電話番号	
				性別	1年	2年	3年	4年	計					
下松高等学校 下松市若宮町12番1号	柴崎 太志	玉野 智己	普通科	男	79	77	84		240	14	36	39	41-0157	
				女	67	80	90		237					
			計	146	157	174	477							
下松工業高等学校 下松市美里町4丁目13番1号	原田 成光	松本 宣昭	システム 機械科	男	35	33	25		93	3	45	62	41-1430	
				女	0	2	2		4					
			電子 機械科	男	31	31	28		90	3				
				女	3	4	0		7					
			情報 電子科	男	35	34	37		106	3				
				女	5	6	2		13					
			化学 工業科	男	36	31	34		101	3				
		女		2	9	1	12							
		計	147	150	129	426	12							
		(定時制) 原田 英典	機械科	男	6	7	4	9	26	4				9
				女	0	0	0	0	0					
計	6	7	4	9	26									
華陵高等学校 下松市大字末武上217番地2	村山 晋一	星野 元幸	普通科	男	22	22	17		61	6	29	33	44-1285	
				女	54	42	60		156					
			英語科	男	5	5	4		14	3				
				女	25	20	29		74					
			計	106	89	110	305	9						

6 施設所在地及び連絡先

令和7年4月1日現在

施設名	所在地	電話番号	FAX番号
下松市教育委員会	下松市大手町3丁目3番3号	45-1866	45-1865
教育総務課 管理係	同 上	45-1866	45-1865
学校教育課 学事係	同 上	45-1868	45-1865
学校教育課 指導係	同 上	45-1869	45-1865
学校教育課 ICT教育推進室	同 上	45-1846	45-1865
学校給食課 (小学校給食センター)	下松市葉山2丁目904番地68	48-9409	48-9443
学校給食課 (中学校給食センター)	下松市潮音町2丁目16番38号	43-7705	43-7709
生涯学習振興課 社会教育係 文化財室	下松市大手町3丁目3番3号	45-1870	45-1865
図書館	下松市大手町2丁目3番1号	41-0093	41-0097
下松市セミナーハウス (希望の星ラウンジ)	下松市大字笠戸島1534番地14	52-0136	兼
下松中央公民館	下松市大手町2丁目3番1号	41-0906	41-0907
久保公民館	下松市大字河内583番地1	46-0700	46-3808
末武公民館	下松市潮音町1丁目1番2号	41-2965	45-0062
花岡公民館	下松市大字末武上1280番地1	43-7513	45-0061
豊井公民館	下松市琴平町2丁目8番7号	43-9107	43-9221
笠戸公民館	下松市大字笠戸島209番地	52-0173	兼
深浦公民館	下松市大字笠戸島1117番地1	52-0948	兼
笠戸島公民館	下松市大字笠戸島698番地	52-0015	52-0038
中村公民館 (中村総合福祉センター併設)	下松市瑞穂町4丁目3番12号	44-1717	41-5519
米川公民館	下松市大字下谷167番地1	53-0001	53-0005
下松市郷土資料展示 収蔵施設「島の学び舎」	下松市大字笠戸島10032番地38	52-0860	—
地域交流課 スポーツ観光交流係	下松市大手町3丁目3番3号	45-1820	45-1849
地域交流課 地域クラブ活動推進室	同 上	45-1742	45-1849

7 学校位置図



8 下松市教育大綱

(1) 大綱策定の趣旨

下松市教育大綱は、本市における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。本市においては、平成28年から令和2年度までを計画期間として、下松市総合計画「後期基本計画」の教育文化分野を教育大綱としていました。このたび、令和3年度の市総合計画の改定にともない、令和2年度に市教育大綱の見直しを行いました。

(2) 大綱の計画期間

下松市教育大綱の計画期間は、市総合計画前期基本計画との整合性を図るため、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。ただし、教育に関する社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて、総合教育会議で協議し見直しを行います。

(3) 基本目標

～ 多様な教育・学習の機会の充実による、
生涯にわたり生き生きと学べるまちづくり ～

(4) 基本方針

ア 学校教育の充実

(ア) 小・中学校教育環境の充実

小・中学校については、計画的な改修等により施設の長寿命化を図るとともに、学習環境の向上に努めます。また、Society5.0時代を生きる子供たちの学びに即した教育機器・備品の整備や学校図書の実質、さらには食育活動の場としての学校給食の実質を図ります。

(イ) 小・中学校教育の推進

長年積み上げてきた「下松教育」の実績の上に立って、さらに、学力と個性、心と体の健全な育成に向けた学校教育活動を推進するとともに、家庭・地域との連携を一層強化し、安全安心に配慮しつつ、質の高い学校運営体制の整備に努めます。

イ 社会教育の充実

(ア) 青少年の健全育成

健全な青少年の育成を地域ぐるみで行うため、学校・家庭・地域の連携を強化した各種の取組や団体活動の支援、図書館活動や情報提供、相談活動等を通して、学びの場の創出や居場所づくり等、健全育成への実践を続けていきます。

(イ) 生涯学習環境の充実

市民の生涯学習意欲やニーズに応える場や機会を充実させるため、公民館施設の維持管理・更新や市民参加も含めた運営改善、図書館におけるソフト面も含めた内容及び利用利便の実質を図ります。

(ウ) 生涯学習の推進

いつでも、どこでも、誰もがそれぞれの興味や関心に応じて主体的に学ぶことが

できるよう、学習機会の充実に努めるとともに、情報提供や指導人材の発掘・育成・活用などの支援により、市民一人一人が生涯学習を通じて生きがいを持てる社会の実現を目指します。

ウ 文化振興と文化財保護

(ア) 文化活動の振興

市民文化の向上に向けた各種の文化活動は、行政主導から文化団体の主導、協働での推進へと発展させ、「スターピアくだまつ」を中心拠点として、文化行事の充実、芸術文化に触れる場の充実等に取り組みます。特に、下松市の特徴である吹奏楽のまちづくりを積極的に進めます。

(イ) 歴史・伝統の保護と活用

文化財等を適切に保護していくとともに、「ふるさと下松」の歴史・文化を伝える各種資料を収集し、その活用方策を多様に検討し、市民の関心を高め、誇りの醸成にもつなげます。

エ 人権教育の推進

(ア) 人権の尊重

人権の尊重は社会における不変のテーマであり、正しい情報提供や相談等の環境づくりに努め、学校教育、社会教育等の場での人権意識を高める教育・学習活動を推進します。

潮騒と星のまち

作詞：山上 路夫
作曲：平尾 昌晃
編曲：義野 裕明

幼ない時から 瀬戸内の海
ながめて育った あなたならば
遠くの町でも 日くれ時など
思い出すでしょう ふるさとを
さざ波白く 緑かがやき
夜空にひろがる 星の唄 ああ
潮騒の町は あなたを待つ
星ふる町は あなたを呼ぶの

港は夕映え 瀬戸内の海
夕日が落ちてく 笠戸島よ
今でも同じに 愛があるなら
いつか帰って ふるさとに
石段のぼり 二人ながめた
夜空にかかった 天の河 ああ
潮騒の町は あなたを待つ
星ふる町は あなたを呼ぶの

潮騒の町は あなたを待つ
星ふる町は あなたを呼ぶの

くだまるのうた

作詞・作曲 MIKKO
編曲 柏崎三十郎

さあ、おいで みんなで歌おう
はじめまして よろしくね
君と出会えた 下松で
ヒラメキ トキメキ ドキドキ

くだまる くだまる 手をつなごう
あなたと私 出会えた奇跡
星が降って 花が咲いて
明日をつなぐよ Happy Lucky Smile
今日のわたしに「はなまる」を

春は 一緒に 桜を見ようね
夏は ドライブ はなぐりへ
秋は 紅葉ね 米泉湖
冬は ほっこり 大城温泉 いい湯だな

くだまる くだまる 手をつなごう
あなたと私 出会えた奇跡
星が降って 花が咲いて
明日をつなぐよ Happy Lucky Smile
今日のあなたに「はなまる」を

いちばん星になれるかな
涙がキラリ 降る夜は
見上げてごらん 明日の夢
ヒラメキ トキメキ ドキドキ 一緒に

くだまる くだまる 手をつなごう
あなたと私 出会えた奇跡
星が降って 花が咲いて
明日を繋ぐよ Happy Lucky Smile
今日のわたしに「はなまる」を
明日もあなたに「はなまる」を

